

地域で学び、地域と共に歩む松本大学の今。

松本大学学報

sokyu
蒼穹

2015.6 Vol.119



会場が一体となって盛り上がった「フラ・イズ・アロハ ハワイアンフェスティバル」(詳しくはP4をご覧ください)

特集

「学内の国際化」めざし 海外の教育力を活用

..... P.02

- “地域づくりインターンシップ”で松本市と連携 P.05
- 石巻市での学習支援活動が5年目に P.06
- 第3回「松本大学教員研究発表会」開催 P.07
- 卒業生の進路(平成26年度の就職内定率97.3%) P.08
- 平成27年度人事短信・就任あいさつ P.11 ほか

「学内の国際化」めざし 海外の教育力を活用

～グローバル社会に対応した本学の取り組み～

本学は、創立以来地域に根ざした大学として全国的にも高い評価を受けています。しかしながら、国際化については今後の課題となっており、本学がグローバル社会に対応した次のステージの大学教育を展開するためには、海外の大学の教育力を活用した教育の展開が不可欠です。学内の国際化をはじめ、海外協定校等での学修プログラムの構築など、本学が進めている取り組みを紹介します。

国際交流センター運営委員長 糸井 重夫



オーストラリア国立ニューカッスル大学での短期語学研修

世界で加速する 高等教育改革

15世紀から16世紀にかけて、欧州の宗教改革期に活躍した人文主義者に、ネーデルランド(現オランダ)出身のエラスムスがあります。彼は、フランス、イタリア、ドイツ、イギリスなどを旅してまわり、マルティン・ルターやトマス・モアなど当時の知識人たちとの親交を持つことで自らの知見を広げ、当時のヨーロッパ社会に大きな影響を与えました。

欧州連合では、1987年、学生のEU域内での大学間移動を促進させる枠組みを設定しましたが、この枠組みは、欧州の様々な場所で、様々な人たちとの議論を通して知見を広げたエラスムスにちなんで「エラ

スムス計画」と呼ばれています。1999年以降は、EU域内での高等教育制度を共通化し、その質を保証する評価体制を整備することで、学生の域内大学間移動はさらに進んでいます。また、このような学生の域内移動を加速させるためには、共通言語としての英語で学位取得を可能にする必要があるため、授業を英語で実施する大学も多くなってきています。

現在、欧州では、最短3年で学士課程を修了することができ、他大学のサマーコース(1～2カ月)やセメスターコース(半年)で学修した単位を相互に認定することで卒業が可能になっています。たとえば、スペインの学生がフランスやドイツでも短期のサマープログラムに参加し、また1年以上留学して学位を取得することが可能になっ

ているのです。つまり、大学等の高等教育を一つの大学内で完結させるのではなく、他国での学修も単位認定することで、より多様性を持った人材育成を目指しているわけです。さらに、この多国間での教育の取り組みは、様々な国で学修することを通してその国の価値観や社会システムを理解させるとともに、半年程度のインターシップを組み合わせることで、自国以外の国々での就業機会を確保することも意図しています。

このようなグローバル化に対応した高等教育改革はわが国でも進められており、2011年には日中韓の大学間連携を進める「キャンパス・アジア」パイロットプログラムが開始されました。この取り組みは、日中韓の高等教育の質保証体制を整備し、単位の相互認定や学位授与などを統一的に行うことで、1～2年の留学を通して相互理解の促進や価値観の共有化を図るとともに、アジア地域の経済・社会の発展に寄与する人材育成を目指しています。

海外の大学の 教育力を活用

このように、世界の高等教育改革は、他国の大学の教育力を活用しながらグローバル社会に対応した人材育成を加速させてきています。そこで、本学でも国際的な大学間連携を徐々に進めています。

本学は、韓国の東新大学と国立済州大学との間で交流協定を締結していますが、

本学が連携または関係している大学



日中韓の「キャンパス・アジア」構想に対応して、昨年は中国の嶺南師範学院(大学)と交流協定を締結し、大学間連携の日中韓三極体制を整えました(中国とは中国人民大学外国語学部と本学総合経営学部が学部間協定を締結しています)。嶺南師範学院は、日系企業が多く進出している中国広東省にある大学で、日系企業に多くの学生を就職させています。同学院との交流を充実させることにより、日本と中国の両面から日本企業を人材供給の面で支援できることとなります。

次に、欧米との交流です。残念ながら本学はチェコのパルドビツェ大学(Uni. Pardubice)としか交流協定を締結していません。協定を締結することで、授業料免除や単位認定など学生が留学しやすい環境が整備されますので、今後は欧米の大学等との交流を進めていく予定です。現状では、米国テネシー州のメルビル(Maryville College)大学との連携を進めており、ここ数年本学の学生が同大学の既製プログラムに参加しています。

さらに、オセアニア・環太平洋地域は、現

在、オーストラリアのニューカッスル大学(Uni. Newcastle)での短期語学研修を神奈川県湘北短期大学と共同開催しています。しかしながら、同大学も協定校ではありませんので、今後さらに交流を進めることで学生の長期留学が可能な環境を整備していく予定です。

また、日本企業のグローバル化の観点からは、台湾や東南アジア地域の大学との連携についても検討していく必要があります。今後は、同地域の大使館や大学などから情報を入手しつつ連携先を選定していきたいと考えています。



本学でカルタを楽しむ嶺南師範学院の学生

プログラムの構築を進めています。学内の国際化については、昨年度から「短期日本語プログラム」を開始し、この夏も7月26日から2週間、海外から留学生が来学することになっています。また、この期間に協定校の教員による集中講義も実施され、学内にいながら外国人とのコミュニケーションや協定校の授業を体験できるようになっています。今後は、欧米の学生にもこの短期プログラムに参加してもらえるようプログラムを改善するとともに、本学の学生が海外の大学で学修が可能になるよう連携を進めていく予定です。

学内での国際交流プログラムを構築

本学では現在、学内の国際化のために、学生が学内で外国人留学生とのコミュニケーションが可能な環境を整備し、興味を持って海外協定校等での学修に進むプロ

東新大学に短期留学

観光ホスピタリティ学科2年 榎間 春佳さん

韓国の東新大学で、短期交換留学生として半年間の日程で学んでいます。高校時代にK-POPを好きになって韓国に興味を持ち始めたことが、大学での留学につながりました。観光日本語学科に所属し、学科の授業(日本人の先生の授業も含む)のほかに、毎日韓国語の授業を受けています。韓国語の受講生の多くは中国人でその他にベトナムやモンゴルから来た学生もいて、新たな友人関係が築けました。

学科がたくさんある分、一学年の人数は少ないのですが、先輩後輩共に全学年で関わりがあってとても仲が良く、そこが大きな魅力です。気候は松本とほとんど変わらないので過ごしやすく、食べ物もおいしいです。

韓国に来て、それぞれ国ごとに趣向が違っても、通じ合い仲良くなれるということを強く感じました。そして言葉が上手く伝わらないからこそ、相手の話をきちんと聞くことが出来るようになりました。これはどんな環境でも大切なことだと思うので、日本に帰っても意識し続けたいです。

留学にあたっては、本学から初めて東新大学に行く学生だったこともあり、先生方が大学や寮を実際に見てきてくれたり、VISAと一緒に取りに行ってくれました。熱心にサポートをしてくださって、本当に感謝しています。



前列中央が本人

松商短大から済州大学に編入

済州大学経営情報学科4年 遠藤 麻美さん

松商短大2年の3月から1年間、交換留学生として韓国の国立済州大学で韓国語を学んだことをきっかけに、済州大学経営情報学科に編入しました。

卒業後は就職するつもりでしたが、国際交流クラブで出会った韓国からの交換留学生と親交を深めて、韓国のことを知りたいと思い、留学して語学を学ぶことにしました。ゼミの中村純子先生が相談ののってくれ、大学との手続きなど手厚くサポートしてくださり、とても心強かったです。

最初は授業(会話、文法)がほとんどわからず苦労しましたが、語学は友人と積極的に話したり、遊んだりする中で上達したと思います。1年間の留学を終え、もっと韓国語を勉強したい、大学生活を送りたいと考え、編入することを決めました。現在は、大学の奨学金を受けて授業料が免除になっており、必修科目のほかにマーケティングや、特許をとるための商品開発などにも取り組み、難しいですがとても充実した学生生活を送っています。

韓国に行き感じたことは、海外での留学経験がある人が多く、幅広い知識を持っているということです。日本の学生も、半年でも1年でもいいのでどんどん海外に出て行って視野を広げ、可能性を広げてほしいです。そのためにも、松本大学のサポート体制がもっと充実して、それを利用する学生が増えてほしいと思っています。



短期のサマープログラムも充実

本学では、「学内の国際化」を通して、学生に海外の大学への興味を持ってもらうために、今年度から「短期日本語プログラム」を年2回実施します。協定校である嶺南師範学院の学生8名を招いた昨年度のトライアル・プログラムでは、本学の学生もサポーターとして参加し、また同学院で実施された短期プログラムに参加した学生もいます。

海外の大学との連携教育には、学年暦の違い(ギャップ・イヤー)を考慮する必要があります。日本の学年暦と海外の学年暦は1〜2カ月ずれており、夏のプログラムに

ついては1月中に、また冬のプログラムについては6月中に公表する必要があります。この夏のプログラムは4月に公表しましたので、残念ながら欧米の学生は見込めませんが、中韓の協定校の学生が参加予定です。来年2月のプログラムについては、6月中に公表予定ですので、欧米の学生の参加も期待しています。

嶺南師範学院でも、世界から80名の学生を招待する10日間の「ユース・サマーキャンプ」を実施します。本学からは、総合経営学部の学生1名と松商短期大学部の学生2名が参加しますが、現地までの交通費のみで授業料や宿泊費は無料になっています。また、4年前に協定を締結した韓国



地景谷にて学生同士が交流

の国立済州大学でも8月に10日間の招待プログラムを実施しており、これまでに短大の学生5名が参加しています。

このように、短期のプログラムを充実させることによって海外の大学に興味を持つ学生を増やし、グローバル社会に対応した人材を育成する教育を、海外の大学の教育力を活用しながら展開していきたいと考えています。

iPad を活用した授業

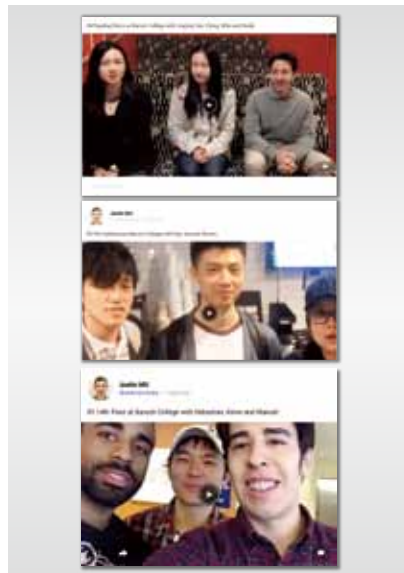


Interactive Englishの風景

松商短期大学部では、従来の英語教育に加えてICTを活用した双方向型の授業「Interactive English」を昨年度から開講しています。この授業では、モバイル端末である「iPad-mini」を使用し、ニューヨークのラガーディア・コミュニティ・カレッジ(LaGuardia Community College)とバ

ルーク・カレッジ(Baruch College)で日本語を学ぶ学生とコラボレート授業を行っています。授業は、両校の教員が毎回のテーマを事前に設定し、学生が相互に日本語と英語でプレゼンテーションしたビデオを視聴することで、外国人に対するシャイネスをなくし、徐々に英語に慣れることを目指しています。

また、この授業では、ICTを活用したテレビ電話授業や相互訪問なども予定しており、将来的には、単位の相互認定等を通して、互いの大学への編入が可能なプログラムに発展させたいと考えています。



ビデオに登場するラガーディア・コミュニティ・カレッジの学生たち

「フラ」を通して国際文化理解を深める

本学で「フラ・イズ・アロハ ハワイアンフェスティバル」開催

観光ホスピタリティ学科 教授 山根 宏文

観光ホスピタリティ学科山根ゼミは6月13日、ハワイからゲストを招いてフラ(ハワイ語でダンスの意味)とハワイアンミュージックのコンサート「フラ・イズ・アロハ ハワイアンフェスティバル」を本学体育館にて開催しました。コンサートは5回目となり、今回の参加者530名を含め、これまでに延

べ3300名の集客がありました。コンサートの目的は、①松本大学東日本大震災災害支援プロジェクトの活動資金助成②観光を学ぶ学生のためのイベントプロデュース実践指導③国際文化理解として学生や地域の人にフラを紹介④超一流のミュージシャンの歌を聴き学生に感性を磨いてもらうこと、です。

ハワイの人々は、50年にわたりハワイ文化であるフラを公の場で踊ることを禁止されたり、アメリカ合衆国に併合されてハワイ語を禁止されたり、フラが白人に

よってハワイ語でなく英語で本来の意味とは違った歌詞でカバーされ流行したりと、過去を振り返ればつらく切ない歴史がありました。そのような歴史から生まれた、人や自然を心から愛するハワイアン・ホスピタリティであるアロハ(愛)の精神を学んでもらいたいということも重要な目的でした。

学生たちはプロデュースの実践を通して、また素敵なコンサートに触れ、「ミュージシャン、踊る方、観客の方、バックステージの方の温かい気持ちが一つになった時に良いものが生まれる」ということを学んでくれたことでしょう。

イベントの収益金100,554円(5回で延べ約160万円)は松本大学東日本大震災災害支援活動資金として寄付いたしました。ご協力いただいた皆様に感謝いたします。

※表紙写真: 高橋侑吾さん(観光ホスピタリティ学科卒業生)撮影



イベントの収益金を松本大学東日本大震災災害支援プロジェクトに寄付

“地域づくりインターシップ”で 本学と松本市が連携

COC戦略会議議長 木村 晴壽

松本大学と松本市は“地域づくりインターンシップ戦略事業”の委託契約を結び、互いに協力して若者を地元に着させるための“地方創生”プログラムを推進することになりました。4月28日に松本市役所で調印式を行い、5名の本学卒業生が研究員・インターンに任命されました。



全体としての深刻な問題となるなか、本学と松本市が連携し、いち早く“地方(まち・ひと・しごと)創生”の具体的なプログラムを始動させることになりました。

人口減少の原因は、若年女性(20~30代)の減少と若者流出の2つであり、若者流出→若年女性流出→人口急減という道筋で住

人がいなくなる自治体が続出すると言われています。若者の流出が問題の出発点で、またそれは進学と就職のときに起こるため、地方大学が“地方創生”の鍵を握る存在になっているのです。

地方大学が卒業生を地元に着させることが地方創生の核心部だ、という事情もあり、“地元の若者を受け入れ、地元へ貢献できる人材に育て、地元へ還す”ための大学として開学した本学が、若者を地元に残すために松本市と連携することは、極めて自然な成り行きです。

若者の地元定着で 人口急減に対処

昨年5月、いわゆる増田レポートが、2040年までに896の市町村が消滅するかもしれないという数字を公表しました。現在1,740ある自治体のうち半数以上が消滅の危機に瀕するという推計です。これに衝撃を受けた全国の自治体は、人口流出をくい止める方策、つまり“地方創生”に向けて一斉に走り出しました。長野県でも34の市町村が消滅危機リストに載り、県

“地域づくりインターシップ” の内容

“地域づくりインターンシップ戦略事業”は、政府の地方創生本部が進める地方創生プログラムの先行事業と位置づけられており、今回の取り組みは、単に地元定着だけを目標にするのではなく、地域づくりに貢献できるスキルを身につけた若者を育成することで、若者が定着しやすい地域をつくることも狙っています。したがって、プログラムは以下のような内容にしました。

- ①地域づくりに係わる活動経験豊富な本学の卒業生(既卒生も含む)を本学地域総合研究センターの特別調査研究員(松本市地域づくりインターン)に任命する。
- ②研究員は、松本市35地区にある地域づくりセンターのいずれかに所属して、地域づくりの具体的な活動に従事する。
- ③研究員は毎週定期的に松本大学で、地域づくりに関するより高度な学びを継続する。
- ④松本市は、以上の内容を条件に、地域づくりインターンの養成を松本大学に委託し、インターン終了後は松本大学と協力してこれら研究員の地元定着を支援する。

本プログラムは向こう5年間の継続を予定しており、初年度にあたる2015年度は女性4名・男性1名、合計5名の本学卒業生が研究員・インターンに任命され、若い女性の流出が人口急減の最大の要因とされるなか、絶妙の男女比でスタートしました。

松本市地域づくりインターン・濱 由佳子さん

常設カフェのスタッフとして活躍

松本城にほど近い上土町に5月より開店した「カフェあげつち」は、地域の人々の居場所づくりを目指し、上土大正ロマンのまちづくり協議会と松本大学が連携して運営しています。ご近所の高齢者や女性グループに加え、子ども連れのお母さんや国内外の観光客、学生、さらに仕事帰りの卒業生など、開店から閉店まで、様々な人たちが入れ替わり来店し、一日中会話が途切れることはありません。その輪の中心になってスタッフとして頑張っているのが、4月より地域づくりインターンとして中央地区に配属された濱由佳子さん(観光ホスピタリティ学科卒業生)です。

4月のプレオープン当初にはぎこちなかった接客も今はすっかりと板につき、彼女が淹れるコーヒーは美味しいと評判です。夜には、地域のニーズに応じて英会話やお茶の教室も開かれます。英会話教室では、外国人観光客が多くなりその接客に悩む商店街のおかみさん達を対象として、実践的な学習に取り組んでいます。また、文部科学省の「地(知)の拠点整備事業」(大学COC事業)としてカフェに「買い物支援センター」を併設し、毎週金曜日には無農薬

野菜を販売し、また上土で開催される「生坂元氣市」の支援や学生が取り組む野菜の引き売り販売「もったいないプロジェクト」の拠点にもなっています。是非松本にお越しの際はお立ち寄りください。(10時~18時、水曜定休)

(観光ホスピタリティ学科 教授 白戸 洋)



常連客にピアノ演奏をする濱さん。駄菓子も販売しています



文部科学省

地(知)の拠点

大学COC事業

文部科学省「地(知)の拠点整備事業」(大学COC事業)の採択を受けての取り組みの一部を紹介します。

災害支援5年目の「まつだい」

松本大学東日本大震災災害支援プロジェクト代表 尻無浜 博幸

東日本大震災から5年目を迎え、外部からの支援が先細り傾向にある中、「松本大学東日本大震災災害支援プロジェクト」は石巻市立大街道小学校での支援活動を続けています。主な活動は学生による学習支援と、臨床心理士によるカウンセリング活動です。

「今回初めて児童の悩みを直接聴かせてもらって、少しずつ信頼してもらえる存在



になっているのかなと思いました。」「回数を追うごとに声をかけてくれる児童が増えてきています。」などなど…。これは、学習支援活動に参加した学生の感想です。継続的な活動から、学生は児童との関わりをさらに深く太く持たせていただいています。もちろん、今年になって初めて参加する学生もいますが、初めての学生は初めてなりに感じることもあり、参加する学生の思いのバリエーションが広がることで活動内容が安定してきたように感じます。

5年目とは、被災時に1年生だった児童が6年生になる年です。小学校での最終学年を過ごしていますが、身体も大きくなり以前は小さな存在が、今では校内で大きく見えます。それでも変わらず、「おっ!まつだい!今週もきていたのか〜」などと生意気な口をきいてくるので少し嬉しさを感じ

ます。また、近年に赴任してこられた先生より顔見知りの期間が長いので、学生が児童と親しく話をしているとその先生は面白くない顔をされたと学生が言っていました。円滑に活動を継続する上では、時には都合の悪いこともあります。

継続は力となって「安心して活動ができる」という財産になっています。その財産を本学に通う一人でも多くの学生と共有したいと思います。

文中の絵は、被災後まもない頃、2年生のクラスの廊下に貼ってあった絵です。「卵からでてきてほしいものを1つ描きなさい。」との問いに、この児童は「楽しい地球」を描きました。作品の説明に人がいっぱいいる風景と付け加えてありました。活動を通して児童から学んでいることは実は多くあって、ただそこに気付くか気付かないかは自分が試されているように思えます。5年目になり、ますますそのメッセージは大きくなっていくように感じます。

保育園給食の放射性物質を調査

健康栄養学科 教授 杉山 英男

人間健康学部健康栄養学科(杉山ゼミ)では、「地(知)の拠点整備事業」(大学COC事業)の一環で、松本市立保育園の給食の放射性物質調査を実施しています。この調査は、事業の趣意に基づき、松本市の認定NPO法人日本チェルノブイリ連帯基金との連携ならびに松本市こども部の協力を受けて、園児および保護者に対する食の安全・安心確保に寄与することが目的です。

対象の給食食材は、毎月の献立表(松本市提供)より、長野県産であること、調理使用重量の大きいことなどを考慮して選択します。対象とする放射性物質は、福島第一原子力発電所事故などで環境に放出された経緯のある放射性セシウム(セシウム-137、セシウム-134)やヨウ素-131および自然界に広く存在するカリウム-40です。これらから放出されるガンマ線をNaI(Tl)シ

ンチレーション検出器付測定システムを用いて測定します。5月末までの調査結果では、幸い、人工放射性物質の放射性セシウムやヨウ素-131は検出されていません。杉山ゼミでは、引き続き調査を行い、多くの方たちが放射性物質や放射線について、“正しく理解し、正しく怖がる”意識づくりに役立つように努めています。



一流選手に成長期のトレーニング法を学ぶ

小平奈緒選手招き「ジュニアアスリートサポートプロジェクト」開催

大学院健康科学研究科 准教授 呉 泰雄



4月5日に本学で第4回ジュニアアスリートサポートプロジェクト「トップアスリートから学ぶ〜成長期の基本的なトレーニングとコンディショニング〜」を開催し、今季ワールドカップ(W杯)スピードスケート女子500メートルで種目別総合優勝を果たした、

小平奈緒選手(相澤病院スポーツ障害予防治療センター所属)が講師として来てくださいました。

今回の企画は、相澤病院と私が今まで展開してきた共同事業の一つとして実施したもので、スケートなど冬季競技の成長期スポーツ選手85名、保護者・指導者82名の計167名が参加しました。

まず、小平選手が子ども向けにリセットエクササイズ(ストレッチと基本のエクササイ

ズ)を指導し、私は保護者・指導者向けに「ジュニアアスリートのためのスポーツ栄養」というテーマで講義を行いました。次いで、小平選手が実技指導として①「成長期の選手がオフやシーズン中に行うべきトレーニングの紹介」②「コンディショニングを維持する目的で行う基本的なストレッチの紹介」を行い、さらに子どもたちへのメッセージとして「夢を持つことの素晴らしさ」や「夢の実現に向けて必要なこと」について、オランダ生活やW杯のことも含めてお話いただきました。子どもたちは生き生きとした表情でトップアスリートからの指導を受けていました。

学部を越えて活発に議論

—第3回松本大学教員研究発表会開催—

2015年度 研究推進委員長 室谷 心



3月10日、11日の両日、第3回松本大学教員研究発表会を開催しました。教員同士、日頃の学生への教育活動の様子は良く見ていますが、同じ学部にも所属していても、専門の研究のことを議論する機会は意外に少ないものです。ましてや学部が違えば、研究の話や聞いたことのない教員が大勢います。年に一度のこの学内教員研究発表会は、そんな教員同士が学部の壁を越えて、お互いの問題意識や研究成果を俎上に載せる貴重な機会です。

3回目を迎えた今年は、総合経営学部、人間健康学部、松商短期大学部から19名の教員が登壇し、2日間でのべ60余名の教職員、大学

院生が参加しました。短い時間の中で研究成果の講演と質疑応答が行われ、活発な議論が交わされました。

小規模な大学である松本大学でも、教員各人によって多種多様な研究が行われていることを再認識する2日間となりました。講演並びに会場での議論に参加して下さった皆様に感謝するとともに、研究のさらなる発展を期待しています。

発表内容一覧

研究課題	発表者
乳幼児期から青年期までの人間形成と教育的営み	藤枝 充子
子どもの食生活と社会経済的要因に関する研究：世帯の経済状態と児童の食生活との関連	裕野佐也香
高校サッカー選手における食生活と食事準備者(母親)の働き方に関する調査	大森 恵美
大学を基点とした食育推進によるソーシャルキャピタルの醸成と食文化の継承	廣田 直子
米粉パンの性状に及ぼす市販増粘剤の効果	石原 三妃
格子QCDによるスカラー中間子の研究	室谷 心
信用取引契約を考慮したサプライチェーン・コーディネーションに関する研究	田中 正敏
地域企業における国内・外事業の関連性にかかる研究	兼村 智也
地産地消をテーマにしたマーケティング活動	金子 能呼
野外保育が子どもの育ちに及ぼす効果	犬飼己紀子

研究課題	発表者
サステナブル・ツーリズムの国際認証の我が国での利用と導入に関する研究	中澤 朋代
インスリンによるラット SHARP-2 遺伝子の転写誘導に関わるシグナル伝達経路の解析	山田 一哉
インスリン様活性を有する食品成分のスクリーニングと作用機構の解析	高木 勝広
時計遺伝子と長寿遺伝子の発現相関は、糖代謝調節に関わるか?	浅野 公介
ZHX1変異遺伝子の生物学的役割の解析	羽石 歩美
マウス走運動習慣に伴うmicroRNA発現量変化	川島 均
高強度間欠的スイムトレーニングが卵巣摘出ラットの骨に与える影響について	呉 泰雄
ショウジョウバエの寿命に与える餌中酵母の影響	木藤 伸夫
長野県松本地域で販売された大豆製品における、遺伝子組換え大豆混入の網羅的調査結果	沖嶋 直子

TOEIC 対策講座

5月から正課外で年間30回の講座を開講

TOEICは英語によるコミュニケーション能力を幅広く評価する世界共通のテストで、多くの企業、学校、団体においてさまざまな目的で活用されています。

本学ではTOEIC対策として、正課の授業で入門・初級・中級・実践とレベルに応じた段階的な学修指導を行っていますが、さらにレベルアップしたい学生を対象に、5月から正課外で「TOEIC対策講座」を開講しました。

専門の講師が受講料1万円(テキスト代、TOEIC試験料含む)で、年間30回の講座を行います。また学内で公式なTOEICテストを格安の受験料で実施するとともに、得点に応じた奨励金制度も用意しており、前向きにチャレンジする学生を手厚く支援しています。

平成27年度に採択された 科学研究費助成事業

本学教員による研究課題

「地域企業における国内・外事業の関連性にかかわる研究」

● 期間：平成26年度～28年度 ● 所属：総合経営学部 経営学 兼村 智也 教授

「地域福祉活動実践における

『地域福祉の推進力(アウトカム)』評価指標の構築」

● 期間：平成25年度～27年度 ● 所属：総合経営学部 社会学 佐藤 哲郎 准教授

「インスリン様活性を有する食品成分のスクリーニングと作用機構の解析」

● 期間：平成26年度～28年度 ● 所属：人間健康学部 農芸化学 高木 勝広 教授

「アクセラレーション刺激による筋損傷治療促進効果の検証」

● 期間：平成26年度～27年度 ● 所属：健康科学研究科 医学 河野 史倫 准教授

「食を伝える新しい異世代間地域ネットワークづくりのための参加型アクションリサーチ」

● 期間：平成27年度～29年度 ● 所属：健康科学研究科 学術 廣田 直子 教授

卒業生の進路

平成26年度の就職内定率(就職希望者に対する内定者の割合)は大学・短大全体で97.3%と、昨年の95.4%をさらに上回る良い結果となりました。今後もキャリアサポート体制の充実を図っていきます。

各学部の卒業生の進路状況についてまとめます。

総合経営学部

就活生一人ひとりに対するよりきめ細かな就職支援を目指して!

平成26年度は消費税率引き上げなどの影響があったものの、景気は回復局面であったといえます。このような経済環境の中で就職活動を行った総合経営学部卒業生の就職内定率は96.5%(総合経営学科95.8%・観光ホスピタリティ学科97.2%)で、平成25年度の93.2%と比べると3.3ポイント上昇する良い結果となりました。特に、地域企業のさまざまなニーズに応えるかたちで建設業、金融・保険業、卸・小売業、製造業、サービス業、飲食・宿泊業、福祉・介護業など、就職先が多種多様になっています。また市役所、町村役場、警察、消防など公的機関への就職支援も一層充実し、その成果も着実に増えつつあります。

(就職委員会 総合経営学部主任 成 孝政)

人間健康学部

好景気に後押しされ、希望通りの就職先へ

平成26年度は、景気回復傾向による新卒採用の増加もあり、早々に希望する企業からの内定を勝ち取る学生が多かった半面、就職活動解禁直後に出遅れたり、希望と現実のミスマッチで年明けまで苦戦したりする学生も散見されました。また、教員の採用が厳しく、臨時採用を待たせたが決まらなかった学生が1名出てしまった事は非常に残念でした。とはいえ最終的に過去4年間で最も高い内定率である98.2%をマークしたことは、喜ばしい結果です。単なる数値としての内定率だけでなく、学生一人ひとりがその資質や特性に合った希望の進路へ進めるよう、今年度も支援していきたいと考えております。

(就職委員会 人間健康学部主任 沖嶋 直子)

松商短期大学部

学生の不安解消とサポート充実の成果

松商短期大学部では、平成26年度卒業生の就職率が97.1%と、ここ10年間に於いて最も高い数値で学生を社会に送り出すことができました。地域経済の好転が第一の要因であることは言うまでもありませんが、本学部におけるキャリア教育とともに、ゼミナール教員による、手厚い個別指導により、不安解消とサポートを充実させた成果であると考えています。今後も、この好調な就職活動状況を維持するため、保護者をはじめ地域企業と連携を深めながら、学生支援により一層力を注ぐ所存です。

(就職委員会 短期大学部主任 木下 貴博)

大学院健康科学研究科

研究機関へ就職

健康科学研究科を今春4名の院生が修了しました。その内3名は社会人であったため、実際に就職活動を行った院生は1名で、就職先は研究機関(大阪大学大学院医学系研究科研究補助員)に決まりました。今後の活躍を期待しています。(大学院健康科学研究科 根本 賢一)

総合経営学部

進路別	計
就職	137
編入・進学	2
進路未決定	5
家居・その他	12
合計	156

▼総合経営学科就職先一覧

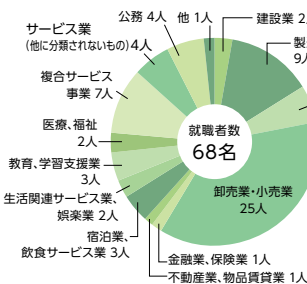
産業分類	企業名	計
建設	㈱オオサワホーム	1
	セキスイハイム信越㈱	1
製造	田中屋製菓所	1
	名古屋製菓㈱	1
	フレックスジャパン㈱	1
	㈱栄光製作所	1
	㈱ハーモニック・ドライブ・システム	1
	ホシザキ北信越㈱	1
	㈱ミマエンジニアリング	1
	㈱イースタン	2
運輸	東日本旅客鉄道㈱	1
	㈱リカ引越センター	1
卸・小売	信州名鉄運輸㈱	2
	㈱デンセン	1
	白楽物産㈱	1
	リコージャパン㈱	1
	㈱アセラ	1
	㈱いとう	1
	㈱エイコー	1
	金森藤平商事㈱	1
	㈱上條器械店	1
	㈱国興	1
	㈱本スホールディングス	2
	㈱ヨコハマタイヤジャパン	1
	㈱井上	1
	㈱エービーシー・マート	1
	㈱エーワンオートイッセ	1
	カネマン田村屋(有)	1
	㈱スズキアリーナ松本	1
	㈱スズキ自動車長野	2
	㈱ツルヤ	1
	トヨタカラー南信㈱	1
トヨタグループ	1	
長野ダイハツ販売㈱	1	
マックスバリュ長野㈱	1	
㈱みはらや	1	
金融・保険	㈱長野銀行	1
不動産・物品賃貸	積和不動産中部㈱	1
	㈱アトム	1
宿泊・飲食サービス	そば処せきや	1
	Dining Bar縁	1
生活関連サービス	㈱巴厘	1
	㈱アステック信州	1
教育・学習支援	㈱デスクスタイル	2
	明成学園	1
医療・福祉	医療法人仁雄会 穂高病院	1
	社会福祉法人平成会	1
複合サービス事業	大北農業協同組合	1
	グリーン長野農業協同組合	2
	塩尻市農業協同組合	1
	志賀高原農業協同組合	1
	須高農業協同組合	1
	松本ハイランド農業協同組合	1
サービス(その他)	㈱キャリアバンク	1
	㈱パワernet・フィールド	1
	セコム上信越㈱	1
	㈱求人ジャーナル	1
公務	長野県警察	1
	駒ヶ根市役所(嘱託)	1
上記以外	自衛隊	2
	自営業	1
計		68

進学先一覧

学校名	計
進学	1
計	1

総合経営学科

■就職先の業種別人数



就職内定率

96.5%

(就職内定者137人/就職希望者142人)

▼観光ホスピタリティ学科就職先一覧

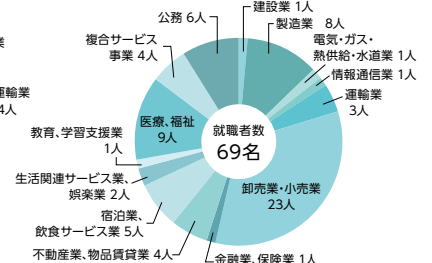
産業分類	企業名	計
建設	㈱岩野商会	1
	農業生産法人㈱かまくら屋	1
製造	㈱スホト	1
	㈱本郷鶏肉	1
	スザクエンジニアリング㈱	1
	㈱デザイン	1
	㈱ハイライト	1
	㈱平林精機	1
	㈱城南製作所	1
	電気・ガス等	サンリン㈱
情報通信	あづみ野テレビ㈱	1
	㈱サカイ引越センター	1
運輸	教養海陸運輸㈱	1
	南信貨物自動車㈱	1
卸・小売	㈱グロープライフ	1
	㈱コパックス	1
	(有)山岳観光社	1
	昭和企業㈱	1
	昭和電機産業㈱	1
	㈱シンケン	1
	㈱長印	1
	㈱吉貞	1
	㈱井上	1
	関東三菱自動車販売㈱	1
	㈱クリのアオキ	1
	㈱グローバルユニット	1
	㈱サンドラッグ	1
	合同会社西友	1
㈱大王	1	
㈱ツルヤ	3	
トヨタカラー南信㈱	2	
㈱西源	1	
ヨコタインターナショナル㈱	1	
㈱綿半ホームエイド	1	
金融・保険	住友生命保険(相)	1
不動産・物品賃貸	㈱諏訪貸家アパートセンター	3
	積和不動産中部㈱	1
宿泊・飲食サービス	㈱王滝	1
	㈱30エタアライズ電話部 トラステリット&パ	1
	㈱ハイディ日高	1
生活関連サービス	ハルピンラーメン	1
	㈱明神館	1
生活関連サービス	永和商事	1
	㈱長野エコーサブライ	1
教育・学習支援	長野県波田学院(嘱託)	1
	医療法人招生会 丸の内病院	1
医療・福祉	ミサトピア小倉病院	1
	(有)かいご家	1
	社会福祉法人サンライフ サンビジョン	2
	松塩筑木曾老人福祉施設組合	1
	社会福祉法人ハーモニー	1
複合サービス事業	社会福祉法人平成会	1
	山形村社会福祉協議会	1
	日本郵便㈱	1
公務	あづみ農業協同組合	1
	塩尻市農業協同組合	2
	警視庁	5
計		69

進学先一覧

学校名	計
進学	1
計	1

観光ホスピタリティ学科

■就職先の業種別人数



人間健康学部

進路別	計
就職	166
編入・進学	4
進路未決定	6
家居・その他	2
合計	178

▼健康栄養学科就職先一覧

産業分類	企業名	計
建設	㈱グリーンバージョンズホールディングス	1
製造	㈱パンフード㈱	1
	㈱デイトリーはやしや	4
	㈱おびなた	1
	㈱シマトレーゼ	1
卸・小売	㈱高天酒造㈱	1
	㈱みずぎコーポレーション	1
金融・保険	㈱リビコン㈱	1
	㈱フリエイト・エス・ディー	1
	㈱ツルヤ	1
	㈱やなぎだ	1
	㈱サマサタバサグループ	1
	㈱小林生花店	1
	㈱REGULUS	1
	㈱アップランド	1
	㈱クスのアオキ	1
	㈱モトックス	1
	㈱モリキ	4
	㈱一真堂	2
	㈱本信用金庫	2
	㈱大和リース㈱	1
	㈱日本レクシー㈱	1
生活関連サービス	㈱明神館	1
	㈱ジェイプロジェクト	1
	三夢㈱	1
	合資会社新湯温泉	1
	㈱ミールク	2
	㈱メフォス	2
	シグックス㈱	1
	シリウスグループ	1
	日清医療食品㈱	12
	日本ゼネラルフード㈱	4
富士産業(株)	5	
㈱グランディック	2	
㈱ダスキン諏訪	1	
㈱子リクックちくま	1	
医療・福祉	学校法人松商学園	1
	医療法人超年会上諏訪病院	1
	医療法人おけさ会	1
	長野赤十字病院	1
	社会福祉法人平成会	1
	社会福祉法人上伊那福祉協会	1
	社会福祉法人百葉会	1
	社会福祉法人八葉会 恵愛学園	1
	あづみ農業協同組合	1
	佐久浅間農業協同組合	1
ながの農業協同組合	1	
複合サービス事業	㈱リクルーティング・ソーツ・コミュニケーションズ	1
	大町市役所教育委員会(契約)	1
	計	78

進学先一覧

▼健康栄養学科

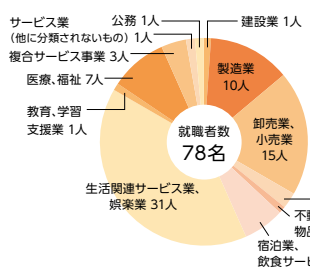
学校名	計
進学	3
計	3

▼スポーツ健康学科

学校名	計
進学	2
中央工学校	1
計	3

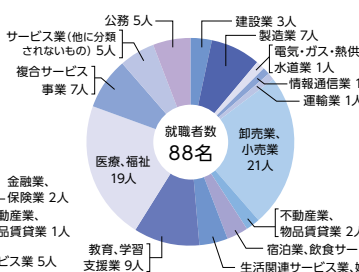
健康栄養学科

■就職先の業種別人数



スポーツ健康学科

■就職先の業種別人数



松商短期大学部

進路別	計
就職	201
編入・進学	4
進路未決定	6
家居・その他	11
合計	222

▼就職先一覧

産業分類	企業名	計
建設	金森建設㈱	1
	セキスイハイム信越㈱	2
	福水ハウス㈱	1
	白之出建工㈱	1
	㈱アストロ電機	1
	㈱パナホーム東海	1
	㈱若野商會	1
	㈱小石興業	1
	㈱カワモト	1
	㈱ユニオンプレート	1
卸・小売	伊那食品工業㈱	1
	㈱お菓子のシアワセドール	1
	㈱グルメリカ	1
	㈱竹風堂	1
	㈱柳尾ニト	1
	志村製菓安曇野営業所	1
	赤田工業㈱	1
	信州吉野電機㈱	1
	太陽工業㈱	2
	ナブック㈱	1
製造	ニッキトライシステム㈱	1
	日東光学㈱	1
	マルヤス機械㈱	1
	山二発条㈱	1
	㈱松澤製作所	1
	㈱栄光製作所	3
	㈱ダイシン	1
	㈱ダイヤ精機製作所	1
	㈱東京ダイカスト	1
	㈱ユニオン	1
生活関連サービス	山洋電気テクノサービス㈱	1
	ルビコン㈱	1
	㈱イースタン	6
	㈱シンエイ・ハイテック	1
	㈱高崎製作所	1
	春日電機㈱	1
	㈱信昌電機	1
	アート工業工業㈱	1
	クリナップ㈱	1
	トロンボーズ・インク㈱	1
久保田容器工業㈱	1	
電気・ガス等	サンリック㈱	1
	㈱川原美㈱	2
	松本ガス㈱	3
	㈱サイザ	1
	㈱ユーステジ	1
	大興電子通信㈱	1
	信州名鉄運輸㈱	1
	南信貨物自動車㈱	1
	飯山中央市場㈱	1
	広栄㈱	1
情報通信	サントリー・ビバレッジサービス㈱	2
	昭和電機産業㈱	4
	征矢野建研㈱	1
	大和冷機工業㈱	1
	長野板紙㈱	1
	長野県連合青果㈱	1
	パルコエ㈱	1
	プリンススタイヤ長野販売㈱	1
	ペイコックコーポレーション㈱	1
	㈱国興	1
運輸	㈱住建	1
	㈱タカチホ	1
	㈱北信理化	1
	㈱マルニシ	2
	㈱丸勇青果	1
	㈱みやま商事	1
	㈱大和	2
	㈱林友	1
	㈱丸友中部青果	1
	十字屋リース㈱	1
南タレー梅村堂	1	
㈱日産ペルジンス長野販売	1	
ごうとく薬局	1	
コーセー化粧品販売㈱	1	
トヨタカラー南信㈱	3	
ナガノコミュニケーションズ販売㈱	3	
長野日産自動車㈱	3	
㈱丸山菓子舗	1	
ヨコタインターナショナル㈱	1	
㈱井上	2	
㈱インプ	1	
㈱ヴァンドームヤマダ	1	
㈱太田屋	1	
複合サービス事業	山梨県立小学校(臨時)	1
	山梨県立中学校(臨時)	1
	山梨県立高等学校(臨時)	1
	山梨県立中学校(臨時)	1
	新海県立中学校(臨時)	1
	岐阜県立中学校(臨時)	1
	松本第一高等学校(非常勤)	1
	長野県道庁学院(嘱託)	1
	NPO法人キッズウィル	1
	戸田中央医療グループ	2
富士見高原病院	1	
聖月デンタルクリニック	1	
社会医療法人城西医療財団 小倉病院	1	
社会医療法人城西医療財団 城西病院	1	
福井県済生会病院	1	
エフピー介護サービス㈱	1	
社会福祉法人 平成会	1	
社会福祉法人サンライフ/サン・ビジョン	1	
社会福祉法人しなのさわやか福祉会	1	
社会福祉法人つるがね福祉会 つつしが丘学園	1	
社会福祉法人ハーモニー福祉会	1	
社会福祉法人松本市社会福祉協議会(嘱託)	1	
特定非営利活動法人たんと	1	
長野県障がい者福祉センター	1	
医療法人建久会 老人保健施設ごもれば	3	
日本郵便㈱	2	
木曽農業協同組合	1	
佐久浅間農業協同組合	1	
とびあが松農業協同組合	1	
みなみ信州農業協同組合	1	
富丘市農業協同組合	1	
日本連合警備㈱	2	
三和リース㈱	1	
㈱クラフトワーク	1	
直商商事㈱	1	
筑北村役場	1	
大阪府警察	1	
長野県警察	1	
長泉町役場(前南信)	1	
京都府警察	1	
計	88	

就職内定率
97.1%

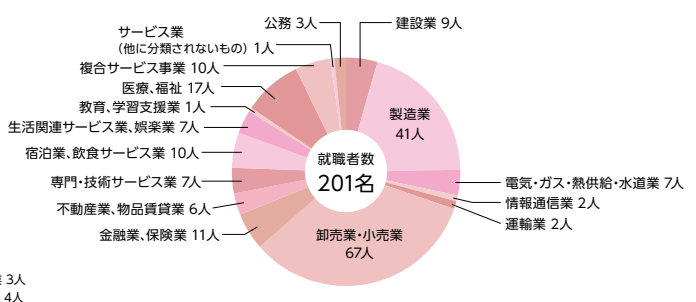
(就職内定者201人/就職希望者207人)

産業分類	企業名	計
卸・小売	㈱ズキ自販長野	1
	㈱ズキ自販南信	1
	㈱たちばな	1
	㈱ツルヤ	2
	㈱ヴァンドームリテイリング ジーユー	1
	㈱マツモトキヨシ甲信越販売	1
	㈱ムラサキスポーツ 松本バルコ店	1
	㈱ヤマザキ	1
	㈱和田正通信サービス	6
	㈱松本マツダオート	1
金融・保険	㈱綿半ホームエイド	1
	関東三菱自動車販売㈱	1
	長野ダイハツ販売㈱	1
	アルプス中央金庫	1
	長野県信用組合	1
	みずほ銀行	3
	山梨県民信用組合	1
	長野銀行	2
	㈱ハニー銀行	2
	㈱商工組合中央金庫	1
不動産・物品賃貸	㈱セシデン	1
	㈱チンタイバンク	2
	㈱ミニミニ	1
	㈱レノライフ	1
	パークス甲信越㈱	1
	成治会計事務所	1
	税理士法人西川会計	1
	税理士法人上野会計事務所	1
	横山会計事務所	1
	小山税務会計事務所	1
専門・技術サービス	税理士法人吉澤会計事務所	1
	税理士法人瀬戸会計事務所	1
	安曇野樹高ビューホテル	1
	日本レクシー㈱	1
	白鳥観光開発㈱	1
	ピジョンクイック東横井沼川キングハウス	1
	㈱クアアランド・ホテル 信州健康ランド	1
	㈱ボムフードグループ ボムの場	1
	㈱長野ホテル北館	1
	㈱ササニ	1
㈱ユーステ	1	
生活関連サービス	安曇野市立植高西小学校(嘱託)	1
	㈱アスタップ信州	1
	田協栄リース㈱	1
	㈱コンフレイトブルガリア花嫁会館	1
	㈱高カントリー	1
	フタギヤセイメイ㈱長野営業所	1
	㈱ユーステ	1
	安曇野市立植高西小学校(嘱託)	1
	スマイル歯科医院	1
	医療法人陣山会	1
医療法人和心会松南病院	1	
㈱田舎病院	1	
小林歯科医院	1	
なお歯科・小児歯科医院	1	
南信山アリス歯科	1	
医療法人ヘルスケア 山村眼科整形外科	2	
医療法人心際会 上條記念病院	1	
医療法人通徳会 松本中山病院	1	
日本赤十字社 関東甲信越ブロック血液センター	1	
㈱ソラスタ長野営業所	1	
社会福祉法人 大志会	1	
社会福祉法人平成会	2	
㈱ウエルライフ信州	1	
複合サービス事業	あづみ農業協同組合	1
	塩尻市農業協同組合	1
	大北農業協同組合	1
	ながの農業協同組合	1
	日本郵便㈱	2
	松本ハイランド農業協同組合	3
	信州諏訪農業協同組合	1
	デンプラスタッフファミリー㈱	1
	長野町役場	1
	松本市役所	2
計	201	

進学先一覧

学校名	計
進学	3
松山大学経済学部	1
計	4

■就職先の業種別人数



新たな生活への期待を胸に

— 平成26年度学位授与式・平成27年度入学式 —

総務課長 赤羽 研太

穏やかな春の陽ざしに包まれた3月20日、平成26年度学位授与式を執り行いました。大学院健康科学研究科4名、総合経営学部156名、人間健康学部178名、松商短期大学部221名の計559名がそれぞれの志を胸に社会へ羽ばたきました。

修了生・卒業生を代表して松商短期大学

部商学科の三村純奈さんが、校友会会長としての経験を振り返り「校友会活動は一筋縄ではいかないことばかりで今までに無い葛藤を味わいました。しかし、そこで学んだことは、仲間がいるという素晴らしさです。時には、衝突し意見のまとまらない日々が続いたこともあります。衝突するという

ことは、一人一人が真剣に1つの企画を大切に向き合っている証です。どんな企画でも最後に得る達成感は私の生涯の宝物ともいえる貴重な経験になりました」とあいさつしました。



また4月2日には平成27年度入学式を挙行し、大学院健康科学研究科3名、総合経営学部190名、人間健康学部201名、松商短期大学部180名の計574名が本校に仲間入りしました。

新入生代表の総合経営学部総合経営学科・宮澤佑弥さんは「今、日本は『人口減少』『大都市への人口一極集中』が問題となっています。私たち若者が、知識と社会性を身につけ、しっかりとした意志を持ち、地域社会へ出て活躍をする。それこそが地方創生につながるのではないかと思います。そのために、自ら積極的に新しいことへ挑戦し、困難なことにも立ち向かい、試行錯誤しながら精一杯努力していきたいと考えています」と決意を述べました。



2015年度入学試験の状況

総合経営学部の2学科(総合経営学科・観光ホスピタリティ学科)、および人間健康学部の2学科(健康栄養学科・スポーツ健康学科)において、今年も定員を充足することができました。競争率を見ても、総合経営学科1.25倍、観光ホスピタリティ学科1.29倍、健康栄養学科1.29倍、スポーツ健康学科1.56倍と、大学全入時代において、優秀な学生を選抜できたと自負しております。

他方で、松商短期大学部については経営情報学科で定員を充足することができましたが、商学科については定員を満たすことができませんでした。

2016年度学生募集ではいずれの学部・学科においても、①入学定員数の充足、②前年度以上の志願者数の増加、の2点を目標に、総力をあげて取り組んでまいります。

(入試委員長 上野 隆幸)

■ 松本大学大学院[修士課程]

研究科	専攻	入学定員 A	志願者数	受験者数 B	合格者数 C	競争率 B/C	手続者数	入学者数 D	充足率 D/A
健康科学	健康科学	6	3	3	3	100.0%	3	3	50.0%
合計		6	3	3	3	100.0%	3	3	50.0%

※留学生を除く

■ 松本大学 1年次入学生

学部	学科	入学定員 A	志願者数	受験者数 B	合格者数 C	競争率 B/C	手続者数	入学者数 D	充足率 D/A
総合経営	総合経営	80	152	150	120	125.0%	87	87	108.8%
	観光ホスピタリティ	80	162	160	124	129.0%	99	99	123.8%
	小計	160	314	310	244	127.0%	186	186	116.3%
人間健康	健康栄養	80	212	209	162	129.0%	92	92	115.0%
	スポーツ健康	80	217	215	138	155.8%	105	105	131.3%
	小計	160	429	424	300	141.3%	197	197	123.1%
合計		320	743	734	544	134.9%	383	383	119.7%

※留学生を除く

■ 松本大学 編入・転入学生

学部	学科	入学定員 A	志願者数	受験者数 B	合格者数 C	競争率 B/C	手続者数	入学者数 D	充足率 D/A
総合経営	総合経営	10	3	3	3	100.0%	3	3	30.0%
	観光ホスピタリティ	10	1	1	1	100.0%	1	1	10.0%
	小計	20	4	4	4	100.0%	4	4	20.0%
人間健康	健康栄養	5	5	5	3	166.7%	3	3	60.0%
	スポーツ健康	10	1	1	1	100.0%	1	1	10.0%
	小計	15	6	6	4	150.0%	4	4	26.7%
合計		35	10	10	8	125.0%	8	8	22.9%

※留学生を除く

■ 松本大学松商短期大学部

学部	学科	入学定員 A	志願者数	受験者数 B	合格者数 C	競争率 B/C	手続者数	入学者数 D	充足率 D/A
短期大学部	商	100	91	91	83	109.6%	76	75	75.0%
	経営情報	100	111	111	108	102.8%	103	103	103.0%
	合計	200	202	202	191	105.8%	179	178	89.0%

※留学生を除く

人事短信

学 長	住吉 廣行
■ 大学院健康科学研究科	
研究科長	山田 一哉
■ 総合経営学部	
学 部 長	室谷 心
学科長(総合経営)	矢崎 久
学科長(観光ホスピタリティ)	増尾 均
■ 人間健康学部	
学 部 長	等々力賢治
学科長(健康栄養)	廣田 直子
学科長(スポーツ健康)	根本 賢一
■ 短期大学部	
学 部 長	山添 昌彦
学科長(商)	篠原由美子
学科長(経営情報)	藤波大三郎
■ 管理部門	
全学協議会議長	等々力賢治
自己点検・評価委員長	住吉 廣行
人権委員長	根本 賢一
健康安全センター運営委員長	江原 孝史
施設管理センター運営委員長	柴田 幸一
危機管理委員長	柴田 幸一

■ 入試広報部門	
入試委員長	上野 隆幸
広報委員長	高木 勝広
高大連携推進委員長	白戸 洋
センター入試委員長	矢野口 聡
■ 研究推進及び管理部門	
研究推進委員長	室谷 心
研究倫理委員長	山田 一哉
■ 学生センター部門	
教務委員長	岩間 英明
教育改善推進委員長	増尾 均
教職センター運営委員長	川島 一夫
図書館運営委員長	篠原由美子
情報センター運営委員長	小林 俊一
国際交流センター運営委員長	糸井 重夫
地域健康支援ステーション運営委員長	廣田 直子
地域づくり考房「ゆめ」運営委員長	廣瀬 豊
学生委員長	尻無浜博幸
就職委員長	藤波大三郎
地域連携(COC)戦略会議議長	木村 晴壽
■ 大学事務局	
大学事務局長	柴田 幸一
学生センター長	丸山 勝弘
総務課長	赤羽 研太
管理課長	赤羽 雄次

教務課長	丸山 勝弘
入試広報室長	中村 文重
学生課長	丸山 正樹
キャリアセンター課長	中村 高士
情報センター課長	松尾 淳彦
■ 法人事務局	
法人事務局長	小倉 宗彦
総合企画部人事課長兼経理課長	横山 文博

新任者

<専任教員>

大学院健康科学研究科 准教授	河野 史倫
総合経営学部観光ホスピタリティ学科 教授	大野 整
総合経営学部観光ホスピタリティ学科 専任講師	向井 健
人間健康学部スポーツ健康学科 准教授	新井喜代加
松商短期大学部商学科 准教授	香取 智宜
基礎教育センター 担当教員	田野口 弘
基礎教育センター 担当教員	丸山 強

<職員>

総務課主事	石川 大輔
総務課主事	小口 洋司
学生課・国際交流センター主事	関澤 一洋
入試広報室主事	坂内 浩三

就任あいさつ

健康科学研究科長就任にあたって

大学院健康科学研究科 研究科長 山田 一哉

このたび、大学院健康科学研究科長に就任しました山田一哉です。健康の維持・増進の両輪である「食」と「運動」に関して、人間健康学部では「健康栄養学科」と「スポーツ健康学科」の2つの学科に分かれて教育・研究を行っていますが、大学院では「健康を科学する」をキーワードに、これらを統合して先進的な研究に取り組んでいます。



本研究科では、設立以来、基礎的・ミクロ的研究から実践的・マクロ的研究まで幅広い研究領域を取り扱っています。大学院生も学部新卒生ばかりではなく、また管理栄養士や健康運動指導士などの有資格者だけでなく、保健師・看護師・臨床検査技師・理学療法士などの資格を持って社会で活躍されている社会人も多く、互いに刺激し合いながら切磋琢磨しています。その中で得られた研究成果は昨年、今年と2年連続で本学開催のCOC学術研究会・健康長寿長野研究会のシンポジウムやポスターでも発表されています。

今後は、世界保健機構(WHO)の定義である「健康」を科学するためにも、「休息」や社会科学分野の研究領域も取り入れていきたいと考えています。微力ではありますが、本研究科がより発展するよう尽力いたしますので、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

学科長就任にあたって

スポーツ健康学科 学科長 根本 賢一

4月1日付で人間健康学部スポーツ健康学科長を務めることになりました。藤原一二前理事長より辞命を手渡され、その責務の重さを全身で感じたところです。

スポーツ健康学科は「健康づくり・健康運動指導、スポーツビジネス・スポーツマネジメント、スポーツ指導・体育・健康教育」の3分野を柱として教学を展開しております。

いずれの分野も、3年時から実習や学外でのフィールドワークなどを多く取り入れています。学外での活動が、学生の基礎力、実践力、応用力を養成することは、これまで輩出してきた卒業生の進路や就職状況を振り返れば明らかであり、今後も学生の教育や学びのフィールドを準備し提供していくことが必要であると考えています。

ところで、3月で2名の教員が本学科を退職され、4月より2名の教員を新たに迎えました。諸先輩諸先生のDNAを引き継ぎつつ、あらたな価値を創り出すことにチャレンジする教員のリーダーとして、またあるときにはサポーターとして貢献できる学科長でありたいと考えております。そして、他の学科とこれまで以上の交流を図り、良い意味で競い合っていけるよう頑張りたいと思っております。今後ともどうぞご指導ご支援の程、宜しく願い申し上げます。



各種検定試験及び 資格取得試験受験状況

本学では、52種類の検定試験及び資格取得試験について学生の受験状況を調べています。平成26年度は、延べ3155名が受験しました。土日に行われる試験が多く、受験者にとっては緊張を強いられることとなりますが、継続して頑張してほしいと思います。

また、平成26年度は「証券外務員(二種)」に過去最高の5名が合格しました。就職に役立つ資格が多数ありますので、是非挑戦してみてください。(情報センター課長 松尾 淳彦)



区分	実施回数	学部	区分			区分	実施回数	学部	区分			区分	実施回数	学部	区分						
			受験者数	合格者数	合格率%				受験者数	合格者数	合格率%				受験者数	合格者数	合格率%				
日商簿記検定試験																					
1級	年2回	短大部	0	0	0.0%	Word		短大部	29	27	93.1%	2級総合	年3回	短大部	-	1	-				
		大学部	1	0	0.0%			大学部	-	-	-			大学部	-	-					
2級	年3回	短大部	34	7	20.6%	Excel		短大部	63	62	98.4%	2級学科	年3回	短大部	4	1	-				
		大学部	3	0	0.0%			大学部	-	-	-			大学部	6	0	-				
3級	年3回	短大部	152	75	49.3%	Powerpoint		短大部	15	15	100.0%	2級実技	年3回	短大部	4	1	-				
		大学部	31	14	45.2%			大学部	-	-	-			大学部	6	0	-				
全経簿記能力検定試験																					
1級総合	年3回	短大部	-	3	-	プレゼンテーション作成検定試験															
		大学部	-	0	-	1級	年4回	短大部	0	0	0.0%	2級総合	年3回	短大部	-	13	-				
1級会計	年3回	短大部	9	1	11.1%			2級	年4回	短大部	2			2	100.0%	3級総合	年3回	短大部	-	11	-
		大学部	0	0	0.0%	3級	年4回			短大部	0	0	0.0%	3級学科	年3回			短大部	45	19	42.2%
1級簿記	年3回	短大部	24	10	41.7%			3級実技	年3回	短大部	38	30	78.9%			宅地建物取引士	年3回	短大部	25	13	52.0%
		大学部	0	0	0.0%	2級	年2回			短大部	0	0	0.0%	総合旅行業務取扱管理者試験	年1回			短大部	-	-	-
2級	年3回	短大部	20	13	65.0%			ビジネス文書検定試験													
		大学部	0	0	0.0%	3級	年2回	短大部	6	4	66.7%	国内旅行業務取扱管理者試験	年1回	短大部	-	-	-				
3級	年3回	短大部	141	131	92.9%			3級	年2回	短大部	0			0	0.0%	国内旅行業務取扱管理者試験	年1回	短大部	-	1	-
		大学部	4	4	100.0%	1級	年2回			短大部	2	2	100.0%	国内旅行業務取扱管理者試験	年1回			短大部	-	7	-
ITパスポート																					
短大部	年2回	短大部	-	-	-	サービスマン検定試験															
		大学部	-	2	-	1級	年2回	短大部	-	-	-	2級	年2回	短大部	-	-	-				
基本情報技術者																					
短大部	年2回	短大部	-	-	-	準1級	年2回	短大部	0	0	0.0%	1級	年1回	短大部	-	-	-				
		大学部	-	1	-			2級	年2回	短大部	2			2	100.0%	2級	年1回	短大部	0	0	0.0%
応用情報技術者試験																					
短大部	年2回	短大部	-	-	-	2級	年2回	短大部	1	1	100.0%	3級	年1回	短大部	0	0	0.0%				
		大学部	-	-	-			3級	年2回	短大部	23			14	60.9%	3級	年2回	短大部	3	1	33.3%
情報処理技術者(表計算)検定試験																					
初段	年4回	短大部	21	10	47.6%	カラー検定試験															
		大学部	3	3	100.0%	1級	年2回	短大部	-	-	-	準1級	年2回	短大部	-	-	-				
1級	年4回	短大部	129	86	66.7%			2級	年3回	短大部	2			2	100.0%	2級	年3回	短大部	2	2	100.0%
		大学部	125	72	57.6%	3級	年3回			短大部	14	9	64.3%	3級	年3回			短大部	194	149	76.8%
2級	年4回	短大部	165	143	86.7%			3級	年3回	短大部	3	3	100.0%			秘書検定試験					
		大学部	300	246	82.0%	1級	年2回			短大部	-	-	-	準1級	年2回	短大部	-	-	-		
3級	年4回	短大部	61	59	96.7%			2級	年3回	短大部	2	2	100.0%			2級	年3回	短大部	2	2	100.0%
		大学部	4	2	50.0%	3級	年3回			短大部	194	149	76.8%	3級	年3回			短大部	14	9	64.3%
情報処理技術者(データベース)検定試験																					
1級	年4回	短大部	16	9	56.3%	色彩検定試験															
		大学部	1	1	100.0%	2級	年2回	短大部	-	-	-	3級	年2回	短大部	1	1	100.0%				
2級	年4回	短大部	80	62	77.5%			3級	年2回	短大部	-			-	-	3級	年2回	短大部	2	1	50.0%
		大学部	0	0	0.0%	アシスタントブライダルコーディネーターABC検定															
3級	年4回	短大部	16	15	93.8%	1級	年1回	短大部	4	4	100.0%	2級	年3回	短大部	20	7	35.0%				
		大学部	0	0	0.0%			準1級	年2回	短大部	0			0	-	準2級	年3回	短大部	17	4	23.5%
文書デザイン検定試験																					
1級	年4回	短大部	55	45	81.8%	日本漢字能力検定															
		大学部	1	1	100.0%	2級	年3回	短大部	4	1	25.0%	準2級	年3回	短大部	6	5	83.3%				
2級	年4回	短大部	48	42	87.5%			3級	年3回	短大部	6			5	83.3%	3級	年3回	短大部	4	0	0.0%
		大学部	0	0	0.0%	1級	年1回			短大部	4	0	0.0%	準2級	年3回			短大部	4	0	0.0%
3級	年4回	短大部	0	0	0.0%			色彩検定試験													
		大学部	0	0	0.0%	2級	年2回	短大部	-	-	-	3級	年2回	短大部	1	1	100.0%				
ホームページ作成検定																					
1級	年4回	短大部	47	43	91.5%	アシスタントブライダルコーディネーターABC検定															
		大学部	14	14	100.0%	1級	年1回	短大部	4	4	100.0%	2級	年3回	短大部	20	7	35.0%				
2級	年4回	短大部	12	10	83.3%			準1級	年2回	短大部	0			0	-	準2級	年3回	短大部	17	4	23.5%
		大学部	27	27	100.0%	2級	年3回			短大部	4	1	25.0%	3級	年3回			短大部	4	1	25.0%
3級	年4回	短大部	0	0	0.0%			日本漢字能力検定													
		大学部	0	0	0.0%	3級	年3回	短大部	6	5	83.3%	準2級	年3回	短大部	6	5	83.3%				
保険請求事務技能検定試験「医科」																					
1級	年4回	短大部	0	0	0.0%	1級	年1回	短大部	77	72	93.5%	2級	年3回	短大部	4	1	25.0%				
		大学部	0	0	0.0%			2級	年3回	短大部	6			5	83.3%	準2級	年3回	短大部	4	0	0.0%
2級	年4回	短大部	0	0	0.0%	診療報酬請求事務能力検定試験															
		大学部	0	0	0.0%	3級	年3回	短大部	4	0	0.0%	3級	年3回	短大部	4	0	0.0%				
診療報酬請求事務能力検定試験																					
1級	年4回	短大部	0	0	0.0%	1級	年1回	短大部	14	1	7.1%	2級	年3回	短大部	4	0	0.0%				
		大学部	0	0	0.0%			2級	年3回	短大部	0			0	0.0%	3級	年3回	短大部	0	0	0.0%
2級	年4回	短大部	0	0	0.0%	保険請求事務技能検定試験「歯科」															
		大学部	0	0	0.0%	2級	年3回	短大部	33	33	100.0%	3級	年3回	短大部	33	33	100.0%				
保険請求事務技能検定試験「歯科」																					
初段	年4回	短大部	0	0	0.0%	1級	年1回	短大部	0	0	-	2級	年3回	短大部	0	0	-				
		大学部	1	1	100.0%			2級	年3回	短大部	43			36	83.7%	3級	年3回	短大部	2	0	0.0%
1級	年4回	短大部	18	6	33.3%	調剤報酬請求事務技能検定試験															
		大学部	5	0	0.0%	1級	年1回	短大部	43	36	83.7%	2級	年3回	短大部	43	36	83.7%				
準1級	年4回	短大部	24	14	58.3%			2級	年3回	短大部	2			0	0.0%	3級	年3回	短大部	2	0	0.0%
		大学部	5	2	40.0%	医療事務コンピュータ能力検定試験															
2級	年4回	短大部	73	51	69.9%	1級	年1回	短大部	59	54	91.5%	2級	年3回	短大部	59	54	91.5%				
		大学部	26	19	73.1%			2級	年3回	短大部	4			4	100.0%	3級	年3回	短大部	4	4	100.0%
準2級	年4回	短大部	100	67	67.0%	メディカルマナー検定試験															
		大学部	86	55	64.0%	1級	年1回	短大部	10	10	100.0%	2級	年3回	短大部	10	10	100.0%				
3級	年4回	短大部	31	23	74.2%			2級	年3回	短大部	0			0	-	3級	年3回	短大部	0	0	-
		大学部	10	7	70.0%	福祉住環境コーディネーター															
福祉住環境コーディネーター																					
3級	年2回	短大部	22	5	22.7%	介護職員初任者研修(旧ホームヘルパー)															
		大学部	-	-	-	2級	年1回	短大部	-	7	-	1級	年1回	短大部	-	15	-				
介護職員初任者研修(旧ホームヘルパー)																					
2級	年1回	短大部	-	7	-	1級	年1回	短大部	-	15	-	2級	年1回	短大部	-	3	-				
		大学部	-	-	-			2級	年1回	短大部	-			-	-	3級	年1回	短大部	-	-	-
貿易実務検定																					
C級	年2回	短大部	-	-	-	証券外務員															
		大学部	-	1	-	二種	年1回	短大部	-	-	-	証券外務員	年1回	短大部	-	5	-				
証券外務員																					
二種	年1回	短大部	-	-	-	二種	年1回	短大部	-	-	-	証券外務員	年1回	短大部	-	-	-				
		大学部	-	-	-			証券外務員	年1回	短大部	-			-	-	証券外務員	年1回	短大部	-	-	-

※外部試験については応募者数・受験者数不明のため「-」とし、自己申請による合格者数のみ記載しています。

キャンパスを飛び出し
地域を学ぶ!

アウトキャンパス・スタディ

out campus study

》 “道の駅中条” から地域を学ぶ

総合経営学科 教授 清水 聡子

5月29日、総合経営学部の学生19名と教員5名(室谷心学部長、矢崎久総合経営学科長、増尾均観光ホスピタリティ学科長、小林俊一総合経営学科教授、清水)、計24名で、道の駅中条を拠点に、地域の魅力を探索するアウトキャンパス・スタディを実施しました。総合経営学部では、国土交通省の推進する「道の駅を利用した地域活性化」に積極的に参加し、地域貢献と

学生教育を進めようとしています。今回のアウトキャンパス・スタディはその第一歩です。

2010年1月1日に長野市と信州新町と中条村が合併しました。長野市中条は善光寺平の西に位置し、山姥伝説で知られる虫倉山に抱かれるようにあります。東に菅平、浅間山、南に聖高原、美ヶ原、西に北アルプスを望む自然と文化、歴史の残る美しい山里です。

長野市中条の説明を道の駅中条の小川博史副施設長より伺いました。総人口2023人、90歳以上の方が118人、高齢化率48% (2014年8月1日調べ)、皆さんご長寿でお元気とのこと。しかし耕作放棄農地、間伐放棄山林の増大、空き

家、高齢者の独り暮らしの増加等、問題を抱えています。そして、地元の伝説に詳しい小林喬様から山姥伝説のお話を中心に伺いました。

次に、学生が事前学習の中で考えた「88(やまんば)プロジェクト」を提案しました。山姥を数字の88で表現したコンセプトのほか、大豆バターや山姥グッズの試作品を紹介しました。そして道の駅中条売上NO.1のおぶっこ、豆乳ドーナツ、中条産りんごソフトを地域統括の下内光雄様にご準備頂きました。素材、味、健康にこだわり、地域の独自性を追求したメニューを大変美味しく頂戴しました。

素晴らしい青空のもと、山々に囲まれた山姥伝説の場所を巡り、栃倉の棚田(日本の棚田100選)を見学し、中条の魅力を五感で吸収したアウトキャンパス・スタディとなりました。中条という地域を知って、何ができるか、学生の創造(想像)の翼が広がればと思います。道の駅中条の皆様、地域の皆様、本当にありがとうございました。



》 料理のプロから学ぶ「地産地消」

健康栄養学科 学科長・教授 廣田 直子

健康栄養学科1年生前期科目の「食生活論」では毎年、アウトキャンパス・スタディを実施し、茅野市にある「オーベルジュ・エスポワール」の藤木徳彦シェフにご指導いただいています。藤木シェフは農林水産省の定める「地産地消の仕事人」に選定されている方です。地産地消や食の安全・安心、食材の活かし方などに関して実際の場で学ぶ機会を設定できているのも、松本大学が地域協働型教育を進めてきた成果であると思います。地域にいらっしゃるプロの料理人から、料理そのものだけでなく、そのベースにある思いを伝えていただく機会は、将来、人々に食事を提供していくプロフェッショナルをめざす学生たちにとって貴重な学びになると考えています。

食生活論の講義では、事前学習として関連する資料を配布し、受講生がそれを

読み込んで自分なりの学修テーマを設定し、そのテーマを頭において、アウトキャンパス・スタディに出かけます。今年は5月30日に実施しました。

最初に、塩尻市のトマト生産農家「野村農園」に伺い、藤木シェフから野村さんをご紹介いただいた後、農業者がめざしていること、そのためにどんな工夫をしているのか、どんな苦労があるのかなどについてお話を聞きました。それからエスポワールに向かい、野村農園のトマトを活用した料理や、鹿肉のジビエ料理などをいただきました。その1品1品に、藤木シェフが学生たちに伝えたい題材があるのです。デザートは杏仁のブラマンジェとフィノトウのクリームを詰めた

シュークリーム。学生たちから、驚きの声があがっていました。最後にその日の活動全体を振り返り、藤木シェフの講話を聴講しました。通常は50席ほどのフロアに90人も入り、講話も床に座ってでしたが、学生たちは熱心に聞き入っていました。

学生たちは、エスポワールの皆さんのおもてなしにも気づいて学んでくれたものと思います。お世話になった皆様、ありがとうございました。





話と和と輪、想像と創造の空間 地域づくり考房『ゆめ』



地域づくり考房『ゆめ』は、学生が大学での学びを活かして地域と連携し、課題解決に向けて主体的に活動することを支援しています。主に4つの取り組み(①学生の関心、問題意識から生まれた企画実践②地域との協

働でプロジェクトを企画実践③地域で企画される活動への参加・支援④地域づくり考房『ゆめ』の自主事業)があり、学生たちが積極的に地域づくりにかかわっています。今回は3つの活動をご紹介します。

病氣と闘う子ども達に ブロック玩具を!

「プロプロ」が集めたブロックを寄付

プロプロは、ご家庭で使われなくなったレゴブロックを、もう一度、子どものもとに届けようというプロジェクト活動です。デンマークで誕生したレゴブロックは、世代や国を超えて楽しめる玩具のひとつで、40年前のブロックとも互換性があります。耐久性にも優れているため、古いものでも壊れにくく「一度買ったら一生遊べる玩具」として世界で愛されています。皆さんも、レゴブロックで夢中になって遊んだ自分や子ども、孫の姿を思い出しませんか?

しかし、大切に遊んだ玩具だから、使わなくなっても捨てることができず、押し入れの奥で眠っていることも少なくありません。そこでプロプロは、このようなレゴブロックを集めて、もう一度子ども達の玩具として活用していただこうと、昨年度より活動を始めました。

5月25日には、集めたブロックを県立子ども病院に届けに行きました。病氣と闘う子ども達が遊ぶことで、子どももブロックもお互いに楽しい時間が過ごせるようお願いを込めています。



今後も集めたブロックを有効に活用できるように活動をしていきます。まずは、今年2月に行って好評だった「レゴコン(レゴブロックを使ったコンテスト)」の開催を、6月13日と9月中旬に予定しています。子どもと大学生がペアになって、集めたブロックで作品を作りコンテストを行います。詳細は地域づくり考房『ゆめ』のホームページをご覧ください。

(運営委員 廣瀬 豊)

『こども広場』で 子育ての応援

「こどもあそび隊」が毎月開催



こども広場は、「こどもあそび隊」が2009年から始めた親子・親同士のコミュニケーションの場を提供する子育て支援活動です。1~5歳くらいまでの未就学児と保護者を対象に、ふれあい遊びや手遊び、季節の工作などを、子どもが好きな学生が集まって企画しています。完全予約制ですが、7年目ともなると一定の参加が見込まれるようになり、今年度は月1回程のペースで、土曜日午前中に本学7号館をメイン会場に開催しています。

対象はまだ授乳期の赤ちゃんから、保育園年中さんまでであり、排泄の介助も必要な、集団遊びがまだ十分にはできない年齢層です。しかし、核家族化が進む今日、子どもだけと過ごす時間が多い保護者(多くはお母さん)も多く、こうした外部とのコミュニケーションの場を通して、親としての情報交換や、子どもの場馴れや人慣れにも良い刺激を期待し、参加いただいているようです。

一方、学生は慣れない進行や手遊び、工作の指導、声掛けなど、常に試行錯誤を繰り返しながら企画と運営に携わっています。5月の初回は、ぎこちない空気が少々漂うスタートでしたが、年度の終わりには皆が仲良くなって、和やかで賑やかなこども広場になっていることでしょう。

(運営委員 中澤 朋代)

子ども達と 楽しく体を動かす

「松本大学キッズスポーツスクール」が教室開催

松本大学キッズスポーツスクールは、地域の子ども達(3~6歳くらい)を対象に、「スポーツ」を通じた友達づくりと、運動の楽しさを知ってもらうことを目的に、毎月開催しています。神経運動系が発達するこの時期に体を使うことは重要で、将来、運動に取り組むきっかけづくりになればと願い活動しています。学生は、子ども達が笑顔になってくれるのが何よりの励みで、共に楽しみながら、次はこんな活動を取り入れようなどと工夫を凝らし、スキルアップしています。



開催場所は本学の体育館が主ですが、依頼があれば出かけて行くこともあります。子どもだけでなく、保護者の参加も大歓迎です。多くの方々に体を動かしていただき、活動が地域に根付いていくことをめざしてがんばっています。(運営委員 中島 節子)

● 今回紹介したプロジェクト ●

【プロプロ】

使われなくなったブロックを収集・洗浄し、学内で幼児を対象にしたブロックイベント「レゴコン」を開催。またブロック提供の依頼があれば寄贈も行います。

【こどもあそび隊】

1~5歳児を対象にした「こども広場」を企画・運営。月ごとに「こどもの日」「雨を楽しもう!!」「夏を楽しもう!!」「運動会」などのテーマを設定し親子や親同士のコミュニケーションづくりの場を提供します。

【松本大学キッズスポーツスクール】

3~6歳児を対象にした「キッズスポーツスクール」を定期的に開催。「ボールと仲良くなろう」「マット運動にチャレンジ」「タオルで遊ぼう」「サッカー教室」「新聞で遊ぼう」など多彩なテーマで、スポーツ好きになるためのサポートをしています。

地域の健康づくりを支援する 地域健康支援ステーション



地域健康支援ステーションでは、地域の健康づくりを栄養と運動の両面からお手伝いしています。最近の活動を紹介します。

管理栄養士スタッフ 飯澤 裕美
健康運動指導士スタッフ 赤津 恵子

公民館の運動教室で 食生活アドバイスを実施

健康づくりには、栄養、運動、休養の3つのバランスを保つことが大事です。そこで、塩尻市などで通年で受託している運動教室において、参加者に対して個人の食事診断をもとに行う食生活アドバイスを、5月19日から開始しました。



現在、3カ所の公民館でアドバイスを行っています。運動教室の参加者に昨日1日何を食べたのか、食事だけでなく間食などもすべて記入していただきます。管理栄養士スタッフが、その食事記録の内容から食事バランスガイドを用いて食事診断を行い、個別にアドバイスします。食生活には季節や地域の特色が反映され、参加者の多くが食事記録にフキやワラビなどの山菜料理を記入していました。季節の郷土料理などのお話も伺いながらバランスのよい食生活へのアドバイスを行いました。その提案に、「さっそく夕食から実践してみます」との声も聞かれました。

当日は運動分野でも、体力測定の結果にもとづき個人に適したトレーニングの種目、実施方法、今後の目標などのアドバイスを行いました。そして教室時間の最後は、管理栄養士が調理したカルシウムを摂取できる「凍り豆腐の白玉団子」でのおやつタイム。「柔らかくて食べやすい。お団子でカルシウムが摂れるのね」と皆で盛り上がりました。

参加者は年度初めに、この栄養と運動の両面からのアドバイスを受けて健康づ



くりのための具体的な行動目標を決め、1年間の運動教室で体力の維持または改善をめざします。

民間企業で新規採用社員対象の レクリエーションを実施

塩尻市内の企業から、新規採用者の人間関係をより深め、あわせて日ごろの運動不足も解消するためのレクリエーションを行ってほしいと依頼があり、4月16日に実施しました。

企業からの出席者は14名で、スタッフとして参加した学生がチームの補充要員として活躍しました。

参加者がリラックスするための歌うウォーミングアップや「あなたはどなた」ゲームをしたあと、チーム編成をし、チームのメンバーが力を合わせて競うプログラムを行いました。みなさん、協力しあって笑いのうちにも真剣に取り組み、より親交を深めることができたと思います。参加者からは、「塩尻に来て日が浅いなか、顔を知ってもらえるよい機会だった。運動不



足感がすごかったが楽しかった。体力の無さを感じた。あっという間に時間が過ぎた」等の感想をいただきました。

参加した学生からは、ゲームの盛り上げ方やプログラムの時間配分がとても勉強になったとの声が聞かれました。

高齢者の運動教室を支援

観光客が行き来する緑豊かな奈良井地区で5月22日、運動による健康づくりに関する講話と実技を行いました。塩尻市の社会福祉協議会分会が主催する75歳以上の高齢者50人程を対象とした集会です。例年はレクリエーションや懇親会を行っています。今年は介護予防をテーマに運動の実践を行いたいとのことでした。



要支援状態の原因の1位はロコモティブシンドローム(運動器の障害による移動機能の低下)といわれています。そこで、健康寿命を延ばすため、ロコモティブシンドロームを遠ざけるためのいつでもどこでも簡単にできる運動メニューを選び、体験していただきました。参加した学生が見本を示しながらの分かりやすい実践となりました。

提案したエクササイズは、年齢に関係なく、膝痛がある人でもできるものばかりです。参加者の皆さんから、「早速家に帰ってやりたい。いい運動を教えてもらった。楽しかった。時々来て教えてほしい」等のご感想をいただきました。

皆さまのお近くで、学生や専門スタッフ(管理栄養士・健康運動指導士)が
お手伝いできることがありましたら、是非お声をかけてください。

決算報告

大学事務局長 柴田 幸一

5月19日、学校法人松商学園の理事会において、本学園の平成26年度決算が承認されました。

平成26年度は、少子化の進む厳しい環境の中にあつて、松本大学大学院、松本大学の両学部、松商短期大学部で募集定員を上回る入学生を迎えることができ、応分の学生生徒等納付金収入を確保することができました。一方、補助金については、本学の教育的取り組みに対する採択型補助金を複数獲得することができました

が、文部科学省の方針等もあり、大学・短大合わせて、前年度より62,889千円の減少となりました。そういった中ではありましたが、全学的に経費の節減に努め、帰属収入の33%という高い教育研究経費比率を維持しながら、帰属収入の11%に相当する帰属収支差額を確保して、ICTの活用による新たな教育手法を実践するための情報通信機器の整備や、動物実験に関するガイドラインに適合した動物飼育室の整備、校舎入口の自動ドア化、太陽光発電設備の設

学校法人 松商学園

財産目録

平成27年3月31日

(単位 円)

1. 資産総額	14,114,351,647
(1) 基本財産	11,222,726,698
(2) 運用財産	2,891,624,949
2. 負債総額	1,043,612,229
(1) 固定負債	269,739,359
(2) 流動負債	773,872,870
3. 正味財産	13,070,739,418

(単位 円)

摘要	金額
資産の部	
基本財産	11,222,726,698
土地	420,266㎡ 2,481,164,134
松本市東3-6-1 校用地	44,130㎡ 251,690,330
松本市新村2095-1 校用地	62,901㎡ 1,681,574,944
松本市埋橋2-1-1 校用地	11,135㎡ 525,156,268
松本市筑摩2丁目2952-3 宅地	202㎡ 839,536
松本市筑摩2丁目2952-10 宅地	969㎡ 4,020,676
松本市筑摩4丁目2438 原野	442㎡ 7,848,217
松本市寿白瀬湖2143 山林	6,641㎡ 964,163
松本市浅間温泉 山林	183,662㎡ 4,070,000
東筑摩郡筑北村乱橋花川原961 原野	110,184㎡ 5,000,000
建物	58,171㎡ 6,341,127,993
学校法人	474㎡ 6,016,024
松本大学	20,325㎡ 2,989,341,157
松本大学松商短期大学部	6,946㎡ 485,831,508
松商学園高等学校	21,815㎡ 1,732,354,425
松本秀峰中等教育学校	8,612㎡ 1,127,584,879
構築物	172件 547,549,038
図書	506,657,360
教育研究用機器備品	371,310,403
その他の機器備品	38,348,409
車輛	878,445
電話加入権	1,395,572
ソフトウェア	20,622,448
大学新校舎建設引当特定預金	750,000,000
第3号基本金引当資産	163,672,896
運用財産	2,891,624,949
現金預金	2,655,311,151
退職給与引当特定資産	150,000,000
有価証券	6,488,630
出資金	200,000
基金拠出金	3,000,000
未収入金	70,388,168
敷金	6,237,000
資産総額	14,114,351,647

(単位 円)

摘要	金額
負債の部	
固定負債	269,739,359
長期借入金	16,660,000
退職給与引当金	253,079,359
流動負債	773,872,870
短期借入金	16,660,000
未払金	116,177,022
前受金	580,784,650
預り金	60,251,198
負債総額	1,043,612,229
正味財産(資産総額 - 負債総額)	13,070,739,418

貸借対照表
平成27年3月31日

資産の部	(単位 円)		
科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	11,388,652,328	11,043,578,614	345,073,714
有形固定資産	10,287,035,782	10,448,403,582	△ 161,367,800
土地	2,481,164,134	2,467,664,134	13,500,000
建物	6,341,127,993	6,387,581,445	△ 46,453,452
構築物	547,549,038	584,117,969	△ 36,568,931
教育研究用機器備品	371,310,403	394,024,607	△ 22,714,204
その他の機器備品	38,348,409	40,816,786	△ 2,468,377
図書	506,657,360	497,508,137	9,149,223
車輛	878,445	4	878,441
建設仮勘定	0	76,690,500	△ 76,690,500
その他の固定資産	1,101,616,546	595,175,032	506,441,514
電話加入権	1,395,572	1,395,572	0
ソフトウェア	20,622,448	20,890,100	△ 267,652
有価証券	6,488,630	6,488,630	0
出資金	200,000	200,000	0
基金拠出金	3,000,000	3,000,000	0
退職給与引当特定資産	150,000,000	150,000,000	0
施設拡充引当特定預金	0	250,000,000	△ 250,000,000
大学新校舎建設引当特定預金	750,000,000	0	750,000,000
第3号基本金引当資産	163,672,896	162,032,730	1,640,166
敷金	6,237,000	1,168,000	5,069,000
流動資産	2,725,699,319	2,991,916,555	△ 266,217,236
現金預金	2,655,311,151	2,738,454,363	△ 83,143,212
未収入金	70,388,168	253,462,192	△ 183,074,024
資産の部合計	14,114,351,647	14,035,495,169	78,856,478

負債の部	(単位 円)		
科目	本年度末	前年度末	増減
固定負債	269,739,359	311,622,232	△ 41,882,873
長期借入金	16,660,000	33,320,000	△ 16,660,000
退職給与引当金	253,079,359	277,253,912	△ 24,174,553
長期未払金	0	1,048,320	△ 1,048,320
流動負債	773,872,870	982,555,260	△ 208,682,390
短期借入金	16,660,000	16,660,000	0
未払金	116,177,022	264,949,259	△ 148,772,237
前受金	580,784,650	646,398,300	△ 65,613,650
預り金	60,251,198	54,547,701	5,703,497
負債の部合計	1,043,612,229	1,294,177,492	△ 250,565,263

基本金の部	(単位 円)		
科目	本年度末	前年度末	増減
第1号基本金	16,298,558,409	16,045,415,122	253,143,287
第2号基本金	750,000,000	0	750,000,000
第3号基本金	163,672,896	162,032,730	1,640,166
第4号基本金	302,000,000	302,000,000	0
基本金の部合計	17,514,231,305	16,509,447,852	1,004,783,453

消費収支差額の部	(単位 円)		
科目	本年度末	前年度末	増減
翌年度繰越消費支出超過額	4,443,491,887	3,768,130,175	675,361,712
消費収支差額の部合計	△ 4,443,491,887	△ 3,768,130,175	△ 675,361,712

科目	本年度末	前年度末	増減
負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	14,114,351,647	14,035,495,169	78,856,478

置など、施設設備の充実を進めることができました。



校舎屋上に設置したソーラーパネル

また、大学においては新校舎の建設計画を進めており、その中で短大部の老朽化した体育館を一体的に建て直すこととしたため、短大部においてこれまで4年間にわたって積み立ててきた施設拡充のための特定預金250,000千円を取り崩すとともに、学園として新たに「大学新校舎建設引当特定預金」750,000千円の組み入れを行いました。これによって、学園全体の資金収支は83,143千円の支出超過となっていますが、貸借対照表の固定資産には、将来の支出に備えた特定資産として500,000千円が増加しています。さらに、この750,000千円については、第2号基本金として基本金への組み入れを行っているため、学園全体の消費収支差額は675,361千円の支出超過となっているものの、経常的な収支としては、バランスのとれた健全な運営ができています。

なお、当年度は、消費税率の引き上げが行われましたが、学校法人は一般の事業者と異なり最終消費者の側面が強いため、負担としては3,500万円ほど支出が増加したと思われる。

学校法人 松商学園

資金収支計算書

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

収入の部				(単位 円)			
科 目	予 算	決 算	差 異	科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	3,199,595,000	3,202,749,616	△ 3,154,616	手数料収入	41,973,000	44,307,170	△ 2,334,170
寄付金収入	52,133,000	39,300,437	△ 12,832,563	補助金収入	1,003,189,000	1,004,986,502	△ 1,797,502
資産運用収入	30,843,000	32,754,164	△ 1,911,164	事業収入	84,042,000	82,622,386	△ 1,419,614
雑収入	31,574,000	36,455,018	△ 4,881,018	前受金収入	548,258,000	580,784,650	△ 32,526,650
その他の収入	438,321,000	509,165,689	△ 70,844,689	資金収入調整勘定	△ 666,736,000	△ 716,786,468	△ 50,050,468
前年度繰越支払資金	2,738,448,000	2,738,454,363	△ 6,363	収入の部合計	7,501,640,000	7,554,793,527	△ 53,153,527
支出の部				(単位 円)			
科 目	予 算	決 算	差 異	科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	2,434,873,000	2,385,021,623	△ 49,851,377	教育研究経費支出	1,069,224,000	965,986,206	△ 103,237,794
管理経費支出	366,753,000	311,691,452	△ 55,061,548	借入金等利息支出	750,000	749,700	△ 300
借入金等返済支出	16,660,000	16,660,000	0	施設関係支出	198,850,000	198,474,492	△ 375,508
設備関係支出	128,324,000	114,369,180	△ 13,954,820	資産運用支出	751,910,000	751,640,166	△ 269,834
その他の支出	276,616,000	270,018,259	△ 6,597,741	資金支出調整勘定	△ 86,375,000	△ 115,128,702	△ 28,753,702
[予備費]	0	0	0	次年度繰越支払資金	2,334,055,000	2,655,311,151	△ 321,256,151
支出の部合計	7,501,640,000	7,554,793,527	△ 53,153,527				

消費収支計算書

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

消費収入の部				(単位 円)			
科 目	予 算	決 算	差 異	科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金	3,199,595,000	3,202,749,616	△ 3,154,616	手数料	41,973,000	44,307,170	△ 2,334,170
寄付金	52,133,000	39,300,437	△ 12,832,563	補助金	1,003,189,000	1,004,986,502	△ 1,797,502
資産運用収入	30,843,000	32,754,164	△ 1,911,164	事業収入	84,042,000	82,622,386	△ 1,419,614
雑収入	31,574,000	36,455,018	△ 4,881,018	前受金収入合計	4,443,349,000	4,457,123,203	△ 13,774,203
その他の収入	438,321,000	509,165,689	△ 70,844,689	基本金組入額合計	△ 1,099,424,000	△ 1,004,783,453	△ 94,640,547
消費収入の部合計	3,343,925,000	3,452,339,750	△ 108,414,750				
消費支出の部				(単位 円)			
科 目	予 算	決 算	差 異	科 目	予 算	決 算	差 異
人件費	2,425,173,000	2,374,051,940	△ 51,121,060	教育研究経費	1,532,724,000	1,429,132,580	△ 103,591,420
管理経費	378,253,000	322,943,285	△ 55,309,715	借入金等利息	750,000	749,700	△ 300
借入金等返済	16,660,000	16,660,000	0	施設関係支出	198,850,000	198,474,492	△ 375,508
設備関係支出	128,324,000	114,369,180	△ 13,954,820	資産運用支出	751,910,000	751,640,166	△ 269,834
その他の支出	276,616,000	270,018,259	△ 6,597,741	資金支出調整勘定	△ 86,375,000	△ 115,128,702	△ 28,753,702
[予備費]	0	0	0	次年度繰越消費支出超過額	3,768,130,175	3,768,130,175	0
消費支出の部合計	4,346,830,000	4,127,701,462	△ 219,128,538	翌年度繰越消費支出超過額	4,771,035,175	4,443,491,887	△ 327,543,288

注記：予備費の使用額は次の通りである。教育研究経費 減価償却額 1,400,000円

松本大学

資金収支計算書

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

収入の部				(単位 円)			
科 目	予 算	決 算	差 異	科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	1,600,793,000	1,602,301,200	△ 1,508,200	手数料収入	22,057,000	23,657,756	△ 1,600,756
寄付金収入	3,344,000	3,352,215	△ 8,215	補助金収入	287,728,000	287,719,552	△ 8,448
資産運用収入	20,054,000	19,337,216	△ 716,784	事業収入	58,349,000	56,991,060	△ 1,357,940
雑収入	21,202,000	23,677,656	△ 2,475,656	前受金収入	265,653,000	292,832,150	△ 27,179,150
その他の収入	60,716,000	106,257,624	△ 45,541,624	資金収入調整勘定	△ 277,464,000	△ 312,520,556	△ 35,056,556
前年度繰越支払資金	605,067,000	605,063,972	△ 3,028	収入の部合計	1,457,365,000	1,498,541,901	△ 41,176,901
支出の部				(単位 円)			
科 目	予 算	決 算	差 異	科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	938,181,000	917,076,230	△ 21,104,770	教育研究経費支出	515,804,000	460,938,802	△ 54,865,198
管理経費支出	202,429,000	177,642,123	△ 24,786,877	施設関係支出	111,100,000	110,803,528	△ 296,472
設備関係支出	70,620,000	60,035,335	△ 10,584,665	その他の支出	112,650,000	112,209,465	△ 440,535
[予備費]	0	0	0	資金支出調整勘定	△ 50,100,000	△ 54,883,936	△ 4,783,936
次年度繰越支払資金	447,319,000	447,319,000	0	支出の部合計	1,457,365,000	1,498,541,901	△ 41,176,901

消費収支計算書

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

消費収入の部				(単位 円)			
科 目	予 算	決 算	差 異	科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金	1,600,793,000	1,602,301,200	△ 1,508,200	手数料	22,057,000	23,657,756	△ 1,600,756
寄付金	3,344,000	3,352,215	△ 8,215	補助金	287,728,000	287,719,552	△ 8,448
資産運用収入	20,054,000	19,337,216	△ 716,784	事業収入	58,349,000	56,991,060	△ 1,357,940
雑収入	21,202,000	23,677,656	△ 2,475,656	前受金収入合計	2,013,527,000	2,017,121,936	△ 3,594,936
その他の収入	60,716,000	106,257,624	△ 45,541,624	基本金組入額合計	△ 183,824,000	△ 120,745,218	△ 63,078,782
消費収入の部合計	1,829,703,000	1,896,376,718	△ 66,673,718				
消費支出の部				(単位 円)			
科 目	予 算	決 算	差 異	科 目	予 算	決 算	差 異
人件費	932,481,000	909,232,560	△ 23,248,440	教育研究経費	768,004,000	712,654,149	△ 55,349,851
管理経費	205,629,000	180,777,339	△ 24,851,661	借入金等返済	400,000	400,000	0
借入金等返済	16,660,000	16,660,000	0	施設関係支出	198,850,000	198,474,492	△ 375,508
設備関係支出	128,324,000	114,369,180	△ 13,954,820	資産運用支出	751,910,000	751,640,166	△ 269,834
その他の支出	276,616,000	270,018,259	△ 6,597,741	資金支出調整勘定	△ 86,375,000	△ 115,128,702	△ 28,753,702
[予備費]	0	0	0	次年度繰越消費収入超過額	194,859,404	194,859,404	0
消費支出の部合計	1,910,514,000	1,802,765,138	△ 107,748,862	翌年度繰越消費収入超過額	114,048,404	288,470,984	△ 174,422,580

松本大学松商短期大学部

資金収支計算書

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

収入の部				(単位 円)			
科 目	予 算	決 算	差 異	科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	454,210,000	454,607,590	△ 397,590	手数料収入	6,586,000	7,298,014	△ 712,014
寄付金収入	136,000	138,056	△ 2,056	補助金収入	117,196,000	117,190,584	△ 5,416
資産運用収入	4,844,000	5,913,988	△ 1,069,988	事業収入	5,072,000	4,293,886	△ 778,114
雑収入	2,620,000	3,967,336	△ 1,347,336	前受金収入	112,605,000	118,732,500	△ 6,127,500
その他の収入	250,354,000	268,837,382	△ 18,483,382	資金収入調整勘定	△ 142,844,000	△ 157,471,278	△ 14,627,278
前年度繰越支払資金	2,291,888,000	2,291,889,531	△ 1,531	収入の部合計	3,102,667,000	3,115,397,589	△ 12,730,589
支出の部				(単位 円)			
科 目	予 算	決 算	差 異	科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	308,242,000	300,720,150	△ 7,521,850	教育研究経費支出	145,575,000	131,451,979	△ 14,123,021
管理経費支出	36,898,000	32,316,982	△ 4,581,018	施設関係支出	20,131,000	19,334,129	△ 796,871
設備関係支出	11,000,000	10,554,492	△ 445,508	その他の支出	11,000,000	10,554,492	△ 445,508
[予備費]	0	0	0	資金支出調整勘定	△ 12,600,000	△ 13,634,557	△ 1,034,557
次年度繰越支払資金	2,591,421,000	2,634,654,414	△ 43,233,414	支出の部合計	3,102,667,000	3,115,397,589	△ 12,730,589

消費収支計算書

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

消費収入の部				(単位 円)			
科 目	予 算	決 算	差 異	科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金	454,210,000	454,607,590	△ 397,590	手数料	6,586,000	7,298,014	△ 712,014
寄付金	136,000	138,056	△ 2,056	補助金	117,196,000	117,190,584	△ 5,416
資産運用収入	4,844,000	5,913,988	△ 1,069,988	事業収入	5,072,000	4,293,886	△ 778,114
雑収入	2,620,000	3,967,336	△ 1,347,336	前受金収入合計	590,664,000	596,505,049	△ 5,841,049
その他の収入	250,354,000	268,837,382	△ 18,483,382	基本金組入額合計	△ 20,657,000	0	△ 20,657,000
消費収入の部合計	570,007,000	596,505,049	△ 26,498,049				
消費支出の部				(単位 円)			
科 目	予 算	決 算	差 異	科 目	予 算	決 算	差 異
人件費	306,642,000	299,436,025	△ 7,205,975	教育研究経費	184,075,000	170,312,580	△ 13,762,420
管理経費	36,898,000	32,316,982	△ 4,581,018	借入金等返済	1,400,000	1,400,000	0
借入金等返済	16,660,000	16,660,000	0	施設関係支出	198,850,000	198,474,492	△ 375,508
設備関係支出	128,324,000	114,369,180	△ 13,954,820	資産運用支出	751,910,000	751,640,166	△ 269,834
その他の支出	276,616,000	270,018,259	△ 6,597,741	資金支出調整勘定	△ 86,375,000	△ 115,128,702	△ 28,753,702
[予備費]	0	0	0	消費支出の部合計	530,195,000	502,507,522	△ 27,687,478
消費支出の部合計	530,195,000	502,507,522	△ 27,687,478	当年度消費支出超過額	1,002,905,000	675,361,712	△ 327,543,288
当年度消費収入超過額	39,812,000	93,997,527	△ 54,185,527	前年度繰越消費支出超過額	3,768,130,175	3,768,130,175	0
前年度繰越消費収入超過額	128,568,675	128,568,675	0	翌年度繰越消費支出超過額	4,771,035,175	4,443,491,887	△ 327,543,288
翌年度繰越消費収入超過額	168,380,675	222,566,202	△ 54,185,527				

教員免許状更新講習が始まりました!

今年度から、松本大学でも教員免許状更新講習が始まりました。本学の教員が講師を務め、6月から講習を行っています。

教員免許状の更新は10年に一度、教員に必要とされる資質能力が保持されるように、また、新しい知識技能を身に付けるために行わ

れるものです。これまでに、多くの卒業生や教員の方々から松本大学での教員免許状更新講習開催の要望があったこともあり、開講に至りました。

講習では、必修領域1講習、選択領域19講



習(うち、養護教諭対応6講習・栄養教諭対応3講習)が行われます。担当の教員も、楽しくて役に立つ講義を目指して準備しています。対象となる先生方の受講を、お待ちしております。詳しい内容は、本学のホームページでご確認ください。(教職センター長 川島 一夫)

平成26年度の学業成績優秀者を表彰



4月9日、本学において平成26年度学業成績優秀者を表彰しました。総合経営学部、人間健康学部では、進級時に前年度の成績をもとに各学科の成績トップの学生を表彰し、奨励金として授業料10万円を減免(特待生は除く)しました。表彰者は次の通りです。総合経営学科▽林大輔(4年)、武田梨那(3年)、堀江穂乃花(2年)▽観光ホスピタリティ学科▽飯沼美智子(4年)、上條陽子(3

年)、堀越麻那(2年)▽健康栄養学科▽中村沙織(4年)、大島明美(3年)、下平萌(2年)▽スポーツ健康学科▽両角

彩里(4年)、中澤久美(3年)、安江望(2年)。また、短期大学部では「トップ10」として、後期の成績上位10名を表彰し、授業料10万円を減免(特待生を除く)しました。表彰者は次の通りです。商学科▽新井スミエ、黒田明日香、仲二見悠、降旗寧々▽経営情報学科▽北沢舞、櫻井真衣、下條まりの、トウジャフィ、前田優香、山田夏帆(いずれも2年生)

(教務課長 丸山 勝弘)

平成27年度松本大学後援会総会を開催

5月30日に、平成27年度松本大学後援会総会を開催しました。次の議案について審議し、全会一致で承認されました。

第1号議案 平成26年度会務報告

第2号議案 平成26年度決算

第3号議案 平成27年度会務および予算

第4号議案 平成27年度役員選出

議事終了後に大学院研究科長、総合経営学部長、人間健康学部長、松商短期大学部長が学事報告をし

ました。総会に引き続き、後援会主催の講演会が開催され、「次世代を担う若者の健康づくり 若者の現状から」というテーマで人間健康学部・中島節子専任講師が講演しました。身心の健康や、青年期特有の問題にもスポットをあてた内容で、聴衆は熱心に耳を傾けていました。

新緑に囲まれたキャンパスで、盛会のうちに一連の行事が終了しました。

「卒友会」で教育現場への意識高める

4月25日に「卒友会」(本学で教員免許状を取得し、教育関係機関に勤務している卒業生の会)が開催され、卒業生5名、在校生7名、教職員9名の計21名の参加がありました。学校での仕事の内容や様子、教員採用試験の面接の様子、県による違い、さらに試験に向けての勉強方法など、卒業生から話される内容は、これから教育現場を目指す、教員採用試験を受験する在学生にとっても、貴重で刺激的なものでした。

参加者それぞれにとって、自分の思いを固め、やる気を高める機会となりました。お忙しい中お集まり下さいました住吉廣行学長はじめ教職員の皆様、そして、卒業生、在校生の皆様、ありがとうございました。

(教職センター長 川島 一夫)



本学では他にも、次のような出来事がありました。

- 5月20日に「動物慰霊祭」を執り行い、教員、学生、大学院生が授業や研究活動で行う実験で犠牲になった動物に対して、慰霊と哀悼の意を捧げました。
- 「第10回大学生協総代会」が5月26日に開催され、理事・監事・総代員合わせて約40名が出席しました。総会では①前年度の事業報告および決算関係の承認②今年度の事業計画および予算決定③今年度の生協役員選出の確認、が無事になされました。今後も、多大なお力添えをよろしくお願いいたします。
- 教育・研究、社会貢献、学内運営の活性化のために多大な功績があった教員をたたえ

- 「第2回学長表彰」の表彰式を4月28日の開学記念日に行いました。表彰者は次のとおりです。▽根本賢一教授(大学院健康科学研究科)＝地方自治体、ホテル、民間企業などと連携した高齢者を中心とする住民の健康づくりを通じ、本学の教育研究の評価を高めるとともに社会貢献をした▽白戸洋教授(総合経営学部観光ホスピタリティ学科)＝高大連携事業を展開する中で長野県内の商業系高校とマーケティング塾を共同開催し、商品開発・販売などの実践活動を行った
- 専任職員の互選により学内のベストスタッフを表彰する新たな制度を設けました。平成26年度の「Best Staff of The Year賞」は、教務課の上條直哉主事に決定しました。

Information

“地域で育て、地域に戻す” 松本大学の挑戦 —開学から10年の歩み— 出版



松本大学創立10周年記念誌「松本大学の挑戦—開学から10年の歩み—」が、3月に出版されました(A5版、288ページ、定価1,500円+税、松本大学出版会発行)。開学からの軌跡をたどり、また設立に関わった人々や教職員の思いを伝える中で、地方・私立・小規模大学が軌道に乗るまでの取り組みを紹介しています。「地域と共に育つ大学」として歩み続ける本学の記録を、ぜひお読みください。

※本書は松本大学の創立10周年にあわせて計画しましたが、諸事情から大幅に遅れて発刊に至ったものです。

進路を決める夏! 2015オープンキャンパス

高校生はもちろん、保護者や教員の方もぜひご参加ください。

8/2(日) 8/22(土) 9/27(日)

※8/22(土)は短大1日体験同時開催

[内容] 松本大学・松商短大概要説明、学科説明、ミニ講義、体験講座、トレーニングルーム体験、ランチ無料体験、キャンパス見学ツアー、個別相談(入試・授業・資格・就職・学生なんでも相談) etc. [途中参加・途中退出可]

無料シャトルバス運行 下記の各駅から ※松本駅以外要予約

長野県内 松本、長野、上田、佐久平、岡谷、下諏訪、茅野、伊那(上伊那農業高校前)、飯田
山梨県 甲府、小淵沢 新潟県 新潟、高田

高校生のための公開授業

松本大学は受験生の皆さんの本学への理解を深めていただくために、全学部、全学科で通常授業を公開します。

7/20(祝) 10/12(祝)

詳しくはホームページでご確認いただくか、入試広報室までお問い合わせください。

www.matsumoto-u.ac.jp ☎0120-507-200

「偶然」から紡ぎだされる「縁」を大切に

観光ホスピタリティ学科 教授 大石 文朗

私が「北米の日系人」を研究テーマにしたのは、今から思えばいくつかの偶然が重なったものでした。たまたま前勤務校がカナダの大学と姉妹校の提携をしており、未だ若かった私は、頻りに夏期語学研修の引率をしていました。研修地は、ロッキー山脈の麓にある小さな田舎町で、最初に訪れた時に、60歳代ぐらいの日系人コーディネーターがおられ、「こんなところにも日系人がいらっしや、自然が豊かで暮らしやすく、のんびりした平穏な所だな」としか思っていないでした。

その後、何回か訪れるうち、現地の大学教員が「ミッションの同胞農業発展史1904年～1942年」という書物を手にしているのを偶然見かけました。本といっても同人誌のような製本で、

詳しく聞くと、その教員の祖父が戦前、バンクーバー近くのミッション地区という所に住んでおり、そこには日本人街があったが、戦後その町は消滅したため、その記憶をとどめるために有志が集まって編纂したとのことでした。このことがきっかけで、戦前の日系カナダ人について興味を持ち調べたところ、今までカナダについて何も知らなかったことに衝撃を覚えました。単に旅行会社などが宣伝のために作ったうわべだけのイメージで決めつけ、さらに悪いことに、実際現地を訪れたことがあるという自信が「カナダはこんなところだ」という確信になっていたことを、大変恥ずかしく思いました。それまでの私は、太平洋戦争時、米国と同盟国であったカナダは、米

国と歩調を合わせて日本と交戦状態に入り、日系人に対して強制収容という政策をとったことすら知りませんでした。さらに調べていくと、まさに学生を引率している研修地近辺が、戦時中、日系カナダ人が強制収容された場所であることを知りました。このことにより、現地の大学や日系人の方々が、どのような深い思いによって日本の若者を熱心に受け入れてくださるのかに対して、敏感になれたと同時に、歴史に裏付けされた新たな研修の「価値」を気づかされました。

最初のきっかけは「偶然」であったものが、たび重なる事によって「縁」へとつながり、また、その「偶然」も先人の「思い」によって築かれた基盤や、連綿と続く歴史があってこそではないかと、この経験から思うようになりました。今後も、「偶然」から紡ぎだされる「縁」を大切に精進したいと思います。

部活動情報

Club・Circle

女子ソフトボール部

10年連続のインカレへ



第21回北信越大学ソフトボール選手権大会を危なげなく無失点優勝で飾り、10年連続10回目のインカレ出場権を獲得することができました。近年は金沢学院大学が急速に力をつけてきており、それまでの安穩とした気分では勝てないというのが現状ですが、学生自身の努力に加え10年前とは比べものにならないくらい環境整備が、こうした結果に結びついていると言えます。しばらく遠ざかっているインカレでの勝利を求めて、今夏さらなる努力を重ねていきたいと思えます。同時にソフトボールグラウンドの確保を含め、なお一層のご支援をお願い申し上げます。

(女子ソフトボール部部長兼監督 岩間 英明)

硬式野球部

H27 関甲新学生野球連盟春季2部リーグ戦勝敗表

大学名	作新大	埼玉大	宇大	松本大	茨城大	慶福大	順位
作新学院大	○3-2 ○11-4	○8-5 ○3-7	○3-1 ○9-2	○11-9 ○9-2	○1-9 ○3-1	2	
埼玉大	○4-11	○3-2 ○3-2	○3-4 ○5-0	○8-4 ○4-3	○0-3 ○2-3	4	
宇都宮大	○6-5 ○2-8	○4-3 ○2-3	○10-0 ○13-2	○0-10 ○2-13	○4-5 ○0-6	3-4 0-10	6
松本大	○1-3 ○7-2	○4-3 ○0-5	○10-0 ○13-2	○7-0 ○4-0	○0-7 ○0-2	4-14 0-2	3
茨城大	○0-10 ○2-9	○4-8 ○3-4	○5-4 ○6-0	○0-7 ○0-4	○4-14 ○5-3	5	
新潟県大	○0-1 ○3-1	○3-0 ○3-2	○4-3 ○10-0	○2-4 ○2-0	○14-4 ○3-5	優勝	

春季リーグ戦は勝率が同じ3チームでプレーオフを行った結果、松本大学は3位でした。秋季リーグでの活躍に期待します。

軟式野球部

3年連続全国大会出場!!

松本大学軟式野球部は4月25日より、全国大会出場校を決める春季リーグ戦に参加し、3年連続で全国大会への切符を手に入れました。

リーグ初戦(対長野大学)は2-5で落としましたが、その後の信州大学(長野、松本)や諏訪東京理科大学との対戦ではすべて勝利し、リーグ2位でプレーオフに進むことができました。5月23日のプレーオフでは、3位で上がってきた信州大学(松本)に4-0で勝ち、決勝戦は、リーグ初戦で落とした長野大学と対戦。本学は2試合連続となり不利な状況でしたが、1試合目からの流れをそのまま持つことができ、4-1で勝利し、8月中旬に長野市(オリンピック・スタジアムなど)で行われる全国大会に臨むこととなりました。

全国大会では、過去2年間、1回戦敗退を喫していますので、今年こそ初勝利を目指したいと思えます。部員一同、プレーオフという厳しい戦いを勝ち抜いたことを自信に、これからの練習にもより力を入れていきます。全国大会には是非応援にお出かけください。

(軟式野球部部長 等々力 賢治)



陸上競技部

2年ぶりの日本インカレ出場へ

5月に行われた北信越インカレにおいて、浦野泰希君(観光ホスピタリティ学科3年)が男子400mで初優勝し、9月に大阪市で行われる日本学生陸上競技対校選手権大会(通称:日本インカレ)への出場権を獲得しました。

◇第55回長野県陸上競技春季大会

(2015/4/25-26 / 松本平広域公園陸上競技場)

【男子6位以内】

1位・400m	浦野 泰希(観光ホスピタリティ学科3年)	48秒10
・400mH	清水 泰志(観光ホスピタリティ学科3年)	54秒70
2位・400mH	川西 翔太(スポーツ健康学科4年)	55秒24
・1600mR	川西 翔太、浦野 泰希	3分21秒22
	丸山 玲央(総合経営学科1年)	
	清水 泰志	
5位・三段跳	小野澤達也(総合経営学科1年)	14m52
・円盤投	尾崎 雄介(観光ホスピタリティ学科4年)	33m48
6位・100m	安藤 直哉(スポーツ健康学科3年)	10秒91
・200m	浦野 泰希	22秒59
・400m	川西 翔太	50秒36
・ハンマー投	瀧本 高博(スポーツ健康学科1年)	40m42

【女子6位以内】

1位・400mR	長村 紋(観光ホスピタリティ学科3年)	49秒83
	瀧澤 祐未(スポーツ健康学科4年)	
	村松 広捺(健康栄養学科2年)	
	中澤 久美(スポーツ健康学科3年)	
・1600mR	長村 紋、中澤 久美、	4分00秒09
	村松 広捺、瀧澤 祐未	
2位・200m	瀧澤 祐未	25秒22
・400m	長村 紋	59秒05
・100mH	中澤 久美	12秒22
3位・100m	瀧澤 祐未	12秒46
4位・5000m	佐々木拓起(健康栄養学科1年)	20分20秒30
5位・400m	村松 広捺	1分00秒41

◇第89回北信越学生陸上競技対校選手権大会

(2015/5/16-17 / 石川県西部緑地公園陸上競技場)

【男子6位以内】 総合7位 37点

1位・400m	浦野 泰希	48秒05
3位・円盤投	尾崎 雄介	38m33
5位・400mH	清水 泰志	54秒56
・400mR	塩野入信栄(スポーツ健康学科4年)	42秒15
	安藤 直哉、浦野 泰希	
	常盤 大智(総合経営学科2年)	
6位・200m	常盤 大智	21秒98
・1600mR	川西 翔太、	3分18秒41
	水島 優(スポーツ健康学科1年)	
	清水 泰志、浦野 泰希	
・ハンマー投	瀧本 高博	44m23

【女子6位以内】 総合6位 41点

2位・200m	瀧澤 祐未	24秒96
4位・100m	瀧澤 祐未	12秒39
・400m	長村 紋	58秒54
・100mH	中澤 久美	15秒66
・400mR	長村 紋、瀧澤 祐未、	49秒49
	村松 広捺、中澤 久美	
・七種競技	中澤 久美	3903点
5位・1600mR	長村 紋、中澤 久美、	3分58秒80
	村松 広捺、瀧澤 祐未	
6位・800m	村松 広捺	59秒14

注)Hはハードル、Rはリレーの略

編集後記

6月早々に梅雨入りし、ほぼ例年どおりの格別な雨のシーズンとなりました。草木や農作物にとっては潤いを与える大切な季節、一方、私たちは不安定な天候で体調を崩しがちになります。たまには気分転換して心潤いを与えながら、梅雨の晴れ間には思いっきり楽しみたいも

のです。さて今回は、グローバル社会に対応した大学教育をめざし、本学が取り組んでいる国際交流について特集しました。今後、多くの学生たちが、海外の大学の教育力を活用したプログラムに参加できるよう、大学としてもサポート体制を一層充実していきたいらと思えます。

(記・広報委員長 高木 勝広)

2016年度 入試日程

■ 総合経営学部 (総合経営学科・観光ホスピタリティ学科/各学科 定員80名)

	試験区分	募集人員		会場等	出願期間	試験日	合格発表日	手続締切日
		総合経営	観光ホスピタリティ					
推薦	推薦前期 (指定校/公募)	30	30	本学	2015年 11月 2日 (月) ~ 11月 9日 (月)	11月 14日 (土)	11月 20日 (金)	12月 4日 (金)
	推薦後期 (公募)	5	5	本学	2015年 11月 30日 (月) ~ 12月 7日 (月)	12月 13日 (日)	12月 17日 (木)	1月 7日 (木)
	自己推薦	5	5	本学	2015年 11月 30日 (月) ~ 12月 7日 (月)	12月 13日 (日)	12月 17日 (木)	1月 7日 (木)
AO	AO I期	5	5	エントリー	2015年 8月 2日 (日) ~ 8月 22日 (土)	9月 17日 (木)	9月 24日 (木)	10月 2日 (金)
				面談	2015年 8月 31日 (月) ~ 9月 3日 (木)			
				出願	2015年 9月 7日 (月) ~ 9月 11日 (金)			
	AO II期	5	5	エントリー	2015年 9月 24日 (木) ~ 10月 2日 (金)	11月 8日 (日)	11月 20日 (金)	12月 4日 (金)
				面談	2015年 10月 12日 (月) ~ 10月 15日 (木)			
出願	2015年 10月 26日 (月) ~ 11月 2日 (月)							
一般	一般A	15	15	本学・東京名古屋・新潟甲府・那覇	2016年 1月 12日 (火) ~ 1月 26日 (火)	2月 2日 (火)	2月 10日 (水)	2月 24日 (水)
	一般B	3	3	本学	2016年 2月 4日 (木) ~ 2月 15日 (月)	2月 3日 (水)	2月 19日 (金)	3月 10日 (木)
	一般C	2	2	本学	2016年 2月 23日 (火) ~ 3月 7日 (月)	2月 19日 (金)	2月 25日 (木)	3月 10日 (木)
	センター	2	2	本学	2016年 2月 23日 (火) ~ 3月 9日 (水)	3月 11日 (金)	3月 14日 (月)	3月 28日 (月)
センター	センター利用 I期	6	6	本学	2016年 1月 12日 (火) ~ 2月 3日 (水)	2月 10日 (水)	2月 24日 (水)	2月 24日 (水)
	センター利用 II期	2	2	本学	2016年 2月 4日 (木) ~ 2月 17日 (水)	2月 25日 (木)	3月 10日 (木)	3月 10日 (木)
	センター利用 III期	2	2	本学	2016年 2月 23日 (火) ~ 3月 9日 (水)	3月 14日 (月)	3月 28日 (月)	3月 28日 (月)
その他	留学生前期	若干	若干	本学	2015年 11月 30日 (月) ~ 12月 7日 (月)	12月 13日 (日)	12月 17日 (木)	1月 7日 (木)
	留学生後期	若干	若干	本学	2016年 2月 1日 (月) ~ 2月 15日 (月)	2月 19日 (金)	2月 25日 (木)	3月 10日 (木)
	帰国生	若干	若干	本学	2015年 11月 30日 (月) ~ 12月 7日 (月)	12月 13日 (日)	12月 17日 (木)	1月 7日 (木)
	社会人	若干	若干	本学	2015年 11月 30日 (月) ~ 12月 7日 (月)	12月 13日 (日)	12月 17日 (木)	1月 7日 (木)
	編入学 I期	4	4	本学	2015年 8月 31日 (月) ~ 9月 11日 (金)	9月 17日 (木)	9月 24日 (木)	10月 2日 (金)
	編入学 II期	4	4	本学	2015年 11月 30日 (月) ~ 12月 7日 (月)	12月 13日 (日)	12月 17日 (木)	1月 7日 (木)
	編入学 III期	2	2	本学	2016年 2月 1日 (月) ~ 2月 15日 (月)	2月 19日 (金)	2月 25日 (木)	3月 10日 (木)

■ 人間健康学部 (健康栄養学科・スポーツ健康学科/各学科 定員80名)

	試験区分	募集人員		会場等	出願期間	試験日	合格発表日	手続締切日
		健康栄養	スポーツ健康					
推薦	推薦前期 (指定校/公募)	30	32	本学	2015年 11月 2日 (月) ~ 11月 9日 (月)	11月 15日 (日)	11月 20日 (金)	12月 4日 (金)
	推薦後期 (公募)	3	3	本学	2015年 11月 30日 (月) ~ 12月 7日 (月)	12月 12日 (土)	12月 17日 (木)	1月 7日 (木)
AO	AO (健康栄養学科)	5	10	エントリー	2015年 9月 24日 (木) ~ 10月 2日 (金)	11月 8日 (日)	11月 20日 (金)	12月 4日 (金)
				模擬授業	2015年 10月 10日 (土) ~ 10月 2日 (月)			
				出願	2015年 10月 26日 (月) ~ 11月 2日 (月)			
	AO I期 (スポーツ健康学科)	5	5	エントリー	2015年 8月 2日 (日) ~ 8月 22日 (土)	9月 17日 (木)	9月 24日 (木)	10月 2日 (金)
				模擬授業	2015年 8月 28日 (金) ~ 9月 11日 (金)			
出願	2015年 9月 7日 (月) ~ 9月 11日 (金)							
AO II期 (スポーツ健康学科)	5	5	エントリー	2015年 9月 24日 (木) ~ 10月 2日 (金)	11月 8日 (日)	11月 20日 (金)	12月 4日 (金)	
			模擬授業	2015年 10月 10日 (土) ~ 11月 2日 (月)				
出願	2015年 10月 26日 (月) ~ 11月 2日 (月)							
一般	一般A	20	15	本学・東京名古屋・新潟甲府・那覇	2016年 1月 12日 (火) ~ 1月 26日 (火)	2月 2日 (火)	2月 10日 (水)	2月 24日 (水)
	一般B	3	3	本学	2016年 2月 4日 (木) ~ 2月 15日 (月)	2月 3日 (水)	2月 19日 (金)	3月 10日 (木)
	一般C	3	3	本学	2016年 2月 23日 (火) ~ 3月 7日 (月)	2月 19日 (金)	2月 25日 (木)	3月 10日 (木)
	センター	2	2	本学	2016年 2月 23日 (火) ~ 3月 9日 (水)	3月 11日 (金)	3月 14日 (月)	3月 28日 (月)
センター	センター利用 I期	10	6	本学	2016年 1月 12日 (火) ~ 2月 3日 (水)	2月 10日 (水)	2月 24日 (水)	2月 24日 (水)
	センター利用 II期	3	2	本学	2016年 2月 4日 (木) ~ 2月 17日 (水)	2月 25日 (木)	3月 10日 (木)	3月 10日 (木)
	センター利用 III期	3	2	本学	2016年 2月 23日 (火) ~ 3月 9日 (水)	3月 14日 (月)	3月 28日 (月)	3月 28日 (月)
その他	社会人AO (健康栄養学科)	若干	若干	エントリー	2015年 9月 24日 (木) ~ 10月 2日 (金)	11月 8日 (日)	11月 20日 (金)	12月 4日 (金)
	社会人AO I期 (スポーツ健康学科)	若干	若干	模擬授業	2015年 10月 10日 (土) ~ 10月 2日 (月)			
				出願	2015年 10月 26日 (月) ~ 11月 2日 (月)			
	社会人AO II期 (スポーツ健康学科)	若干	若干	エントリー	2015年 8月 2日 (日) ~ 8月 22日 (土)	9月 17日 (木)	9月 24日 (木)	10月 2日 (金)
	模擬授業	2015年 8月 28日 (金) ~ 9月 11日 (金)						
	出願	2015年 9月 7日 (月) ~ 9月 11日 (金)						
	留学生	若干	若干	本学	2015年 11月 30日 (月) ~ 12月 7日 (月)	12月 12日 (土)	12月 17日 (木)	1月 7日 (木)
帰国生	若干	若干	本学	2015年 11月 30日 (月) ~ 12月 7日 (月)	12月 12日 (土)	12月 17日 (木)	1月 7日 (木)	
編入学 I期	3	6	本学	2015年 8月 31日 (月) ~ 9月 11日 (金)	9月 17日 (木)	9月 24日 (木)	10月 2日 (金)	
編入学 II期	2	4	本学	2015年 11月 30日 (月) ~ 12月 7日 (月)	12月 12日 (土)	12月 17日 (木)	1月 7日 (木)	

■ 松商短期大学部 (商学科・経営情報学科/各学科 定員100名)

	試験区分	募集人員		会場等	出願期間	試験日	合格発表日	手続締切日
		商	経営情報					
推薦	特待生推薦 (公募)	若干	若干	本学	2015年 11月 2日 (月) ~ 11月 6日 (金)	11月 8日 (日)	11月 10日 (火)	11月 25日 (水)
	推薦前期 (指定校/公募)	60	60	本学	2015年 11月 2日 (月) ~ 11月 9日 (月)	11月 14日 (土)	11月 20日 (金)	12月 4日 (金)
	推薦後期 (公募)	5	5	本学	2015年 11月 30日 (月) ~ 12月 7日 (月)	12月 13日 (日)	12月 17日 (木)	1月 7日 (木)
	自己推薦	5	5	本学	2015年 11月 30日 (月) ~ 12月 7日 (月)	12月 13日 (日)	12月 17日 (木)	1月 7日 (木)
AO	AO I期	5	5	エントリー	2015年 8月 2日 (日) ~ 8月 22日 (土)	9月 17日 (木)	9月 24日 (木)	10月 2日 (金)
				面談	2015年 8月 31日 (月) ~ 9月 3日 (木)			
				出願	2015年 9月 7日 (月) ~ 9月 11日 (金)			
	AO II期	5	5	エントリー	2015年 9月 24日 (木) ~ 10月 2日 (金)	11月 8日 (日)	11月 20日 (金)	12月 4日 (金)
				面談	2015年 10月 12日 (月) ~ 10月 15日 (木)			
出願	2015年 10月 26日 (月) ~ 11月 2日 (月)							
一般	一般A	6	6	本学・東京名古屋・新潟甲府・那覇	2016年 1月 12日 (火) ~ 1月 26日 (火)	2月 2日 (火)	2月 10日 (水)	2月 24日 (水)
	一般B	2	2	本学	2016年 2月 15日 (月) ~ 2月 29日 (月)	3月 4日 (金)	3月 10日 (木)	3月 17日 (木)
	一般C	2	2	本学	2016年 3月 7日 (月) ~ 3月 15日 (火)	3月 17日 (木)	3月 22日 (火)	3月 28日 (月)
	センター	2	2	本学	2016年 3月 7日 (月) ~ 3月 15日 (火)	3月 17日 (木)	3月 22日 (火)	3月 28日 (月)
センター	センター利用 I期	6	6	本学	2016年 1月 12日 (火) ~ 2月 3日 (水)	2月 10日 (水)	2月 24日 (水)	2月 24日 (水)
	センター利用 II期	2	2	本学	2016年 2月 15日 (月) ~ 3月 2日 (水)	2月 10日 (水)	2月 24日 (水)	2月 24日 (水)
	センター利用 III期	2	2	本学	2016年 3月 7日 (月) ~ 3月 15日 (火)	3月 17日 (木)	3月 22日 (火)	3月 28日 (月)
その他	社会人AO I期	若干	若干	エントリー	2015年 8月 2日 (日) ~ 8月 22日 (土)	9月 17日 (木)	9月 24日 (木)	10月 2日 (金)
				面談	2015年 8月 31日 (月) ~ 9月 3日 (木)			
				出願	2015年 9月 7日 (月) ~ 9月 11日 (金)			
	社会人AO II期	若干	若干	エントリー	2015年 9月 24日 (木) ~ 10月 2日 (金)	11月 8日 (日)	11月 20日 (金)	12月 4日 (金)
				面談	2015年 10月 12日 (月) ~ 10月 15日 (木)			
	出願	2015年 10月 26日 (月) ~ 11月 2日 (月)						
	留学生前期	若干	若干	本学	2015年 11月 30日 (月) ~ 12月 7日 (月)	12月 13日 (日)	12月 17日 (木)	1月 7日 (木)
留学生後期	若干	若干	本学	2016年 2月 1日 (月) ~ 2月 15日 (月)	2月 19日 (金)	2月 25日 (木)	3月 10日 (木)	
帰国生	若干	若干	本学	2015年 11月 30日 (月) ~ 12月 7日 (月)	12月 13日 (日)	12月 17日 (木)	1月 7日 (木)	

■ 松本大学大学院健康科学研究科健康科学専攻 (一般・社会人共通)

	試験区分	募集人員		会場等	出願期間	試験日	合格発表日	手続締切日
		健康科学	健康科学					
大学院	前期	3	3	本学	2015年 8月 31日 (月) ~ 9月 11日 (金)	9月 17日 (木)	9月 24日 (木)	10月 2日 (金)
	後期	3	3	本学	2016年 1月 12日 (火) ~ 1月 26日 (火)	2月 3日 (水)	2月 10日 (水)	2月 24日 (水)

2016年度入試から「WEB出願」を実施します。

出願の流れ 出願前/入試情報の確認 → STEP 1 / 必要情報の入力 → STEP 2 / 受験料の支払い → STEP 3 / 必要書類の印刷・郵送 → STEP 4 / 受験票到着

WEB出願の導入に伴い、冊子の募集要項 (願書) は廃止いたしました。なお、一般入試・センター利用入試に限り、冊子の募集要項 (願書) をご用意いたします。

詳しくは、松本大学入試情報サイトでご確認ください www.matsumoto-u.ac.jp/admissions